SHARP

データプロジェクター

形名 PG-F320W（ピー ジー エフ ダブル）

取扱説明書

このたびはシャープデータプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・・・・**6**ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

ご使用になる前に「安全に正しくお使いいただくために」（6～10ページ）を必ずお読みください。

まず

はじめに

基本的な使いかた

設置する

接続する

さあ

使ってみる

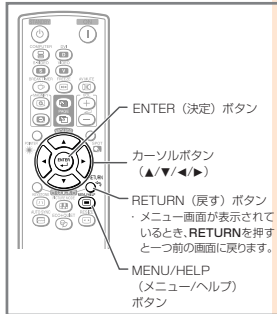
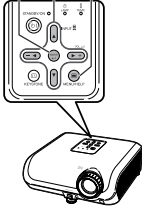
便利な機能

便利な機能

こんなときは・・・

付録

この取扱説明書の見かた

※ 画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なる場合があります。

お知らせ

・特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ

・操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは 54ページ

故障かな？と思ったら 66ページ

索引 75ページ

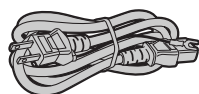
付属品について

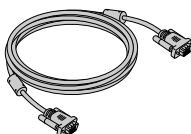
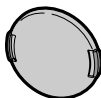
付属品

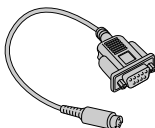
リモコン

単3形乾電池
（2本）

※電池を交換する際は
アルカリ電池をご使
用ください。

電源コード（1.8m）

この電源コードは
本機専用品です

RGBケーブル（3m）

レンズキャップ（装着出荷）

収納ケース

DIN-D-sub RS-232C アダプター（15cm）

※コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。

・取扱説明書（本書）
・CD-ROM（セットアップ説明書／取扱説明書）
・保証書（箱に貼り付け）

別売品のご案内

品名	型名
■3RCA（コンポーネント）／ミニD-sub15ピン変換ケーブル（3m）	AN-C3CP2
■リモートレシーバ	AN-MR2
■ランプユニット	AN-F310LP
■天吊り用取付アダプター	AN-60KT
■天井用取付ユニット	AN-TK201 AN-TK202

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグを抜く

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあります。
万一、さわると危険です。

分解禁止

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

指定された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

電源プラグを抜く

● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

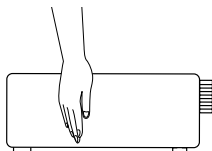
禁止

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

禁止

高温注意

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。

不安定な場所に置かない

禁止

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

販売店に依頼する

● この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

禁止

● この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグを抜く

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

水ぬれ禁止

● こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

接触禁止

● 感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

ほこりを取る

● ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

● 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

禁止

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

禁止

禁止

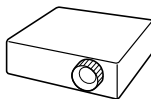
● 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。

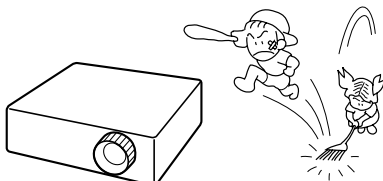
禁止

● 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

重いものを置かない

禁止

● この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

禁止

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

置台に据えつけるときは

転倒防止

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠注意

設置場所を変える場合は必ず接続線をはずす

接続線をはずす

● 設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

水ぬれ禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

確実に差し込む

● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

注意

● 内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

つづく

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

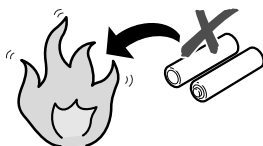
● 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

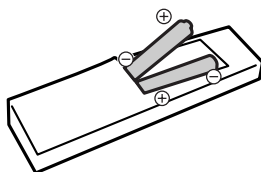
禁止

● 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
● 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

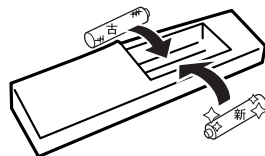
電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない 乾電池は充電しない

禁止

● 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

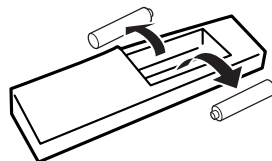
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおり
に入れる

● 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

● 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を
取り出す

● 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

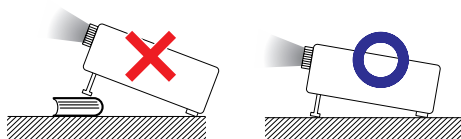
■湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー・ランプ等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

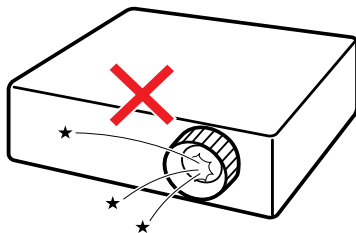
本機を設置するときは

■本機を設置するときは、水平な場所に設置しアジャスターの調整範囲内(8度)でご使用ください。

■プロジェクターをお買い上げ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、ご使用にともない、なくなります。

山岳など高地(標高約1500m)以上でご使用になるとき

■空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。そのまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください

■レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。

高温、低温の場所はさけてください

■使用温度範囲　5℃～35℃
■保存温度範囲　－20℃～＋60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
■排気孔や吸気孔をふさがないよう設置してください。
■冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。(**57**、**58**ページ)このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

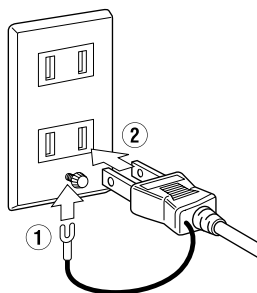
取り扱い時のご注意

■取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。
■取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。
■使用しないときや、収納するときは、レンズキャップを取り付けてください。(**14**ページ)
■直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

つづく

使用上のご注意(つづき)

電源コードの接続について

■電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
■アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

接続機器について

■プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関しての注意

■「ランプについて」(**59**ページ)もご覧ください。
■廃棄の方法について
　このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関しての注意

■ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

海外でご使用になるときは

■お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

- この製品は、クラスA情報技術装着です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

PDF取扱説明書の見かた(Windows®, Macintosh®)

本機に付属のCD-ROMの中には、PDF取扱説明書が収録されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAdobe® Reader®が必要です。お持ちのコンピュータ(Windows®やMacintosh®コンピュータ)にAdobe® Reader®がインストールされていない場合は、インターネット(http://www.adobe.co.jp)からAdobe® Reader®をダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windows®コンピュータの場合:

① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
② "マイコンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
④ **プロジェクターの取扱説明書を見たいときは**
　1) "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
　2) "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
　3) PDFファイルをダブルクリックする。
　セットアップ説明書を見たいときは
　1) "SETUP"フォルダをダブルクリックする。
　2) "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
　3) PDFファイルをダブルクリックする。

Macintosh®コンピュータの場合:

① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
② "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
③ **プロジェクターの取扱説明書を見たいときは**
　1) "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
　2) "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
　3) PDFファイルをダブルクリックする。
　セットアップ説明書を見たいときは
　1) "SETUP"フォルダをダブルクリックする。
　2) "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
　3) PDFファイルをダブルクリックする。

メモ

・マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Adobe Readerをまず起動させてから、"ファイル""開く"メニューを使ってPDFファイルを開いてください。

セットアップ説明書(PDFファイル)のもくじ

セットアップ説明書はCD-ROMに入っています。

各部のなまえとはたらき

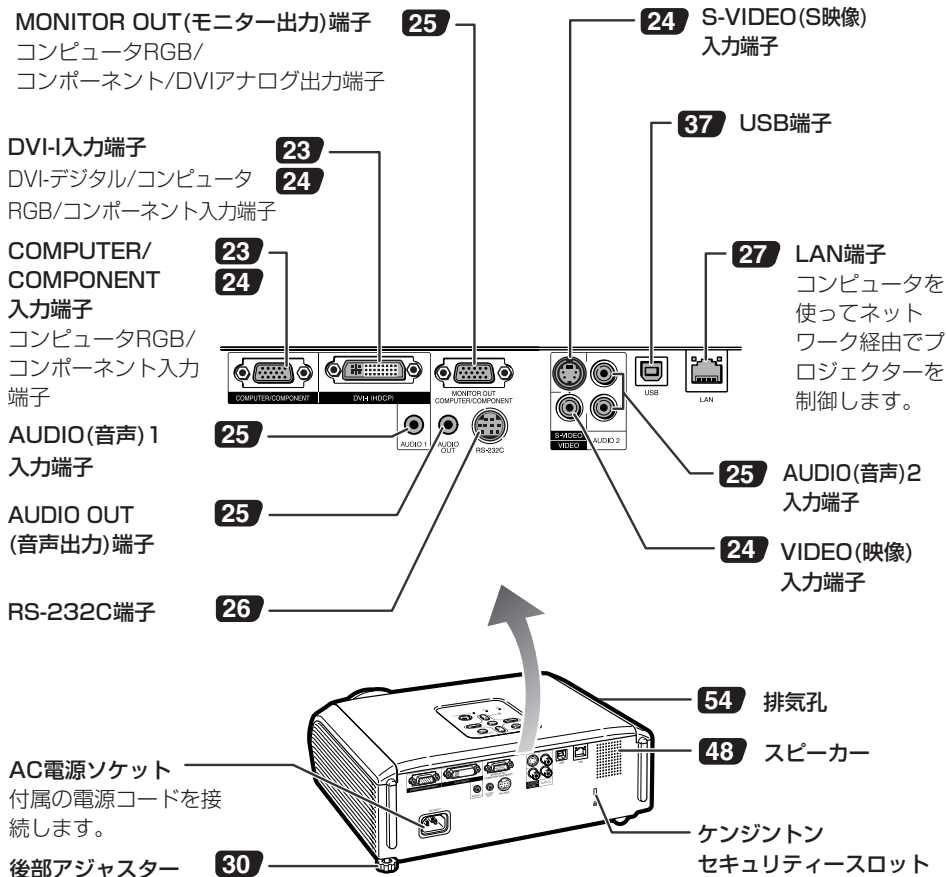
■の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部

■の中の数字は参照ページを示します。

本体背面

背面端子 ･･･接続する機器については**23**～**25**ページの「外部機器と接続する」をご覧ください。

ケンジントンセキュリティースロットについて
- このケンジントンセキュリティースロットは、Kensington社製セキュリティーケーブルに対応しております。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ケンジントンセキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルは盗難を抑止するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

つづく

各部のなまえとはたらき(つづき)

リモコン

28 STANDBY
(スタンバイ)ボタン
電源を待機状態にします。

32 COMPUTER
(コンピュータ)、
DVI、S-VIDEO(S映像)、
VIDEO(映像)ボタン
入力モードを切り換えます。

35 BREAK TIMER
(休憩時間)ボタン
休憩時間を設定します。

36 MAGNIFY((拡大)
／(縮小))ボタン
投映画像を部分拡大
／縮小します。

37 PAGE UP/PAGE DOWN
(ページアップ/ページダウン)ボタン
USBケーブルまたはリモートレシーバを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、コンピュータの「Page Up」「Page Down」ボタンとして働きます。

35 POINTER(ポインタ)
ボタン
画面上にポインタを表示させます。
▲/▼/◀/▶でポインタを移動することができます。

37 **41** マウス/カーソルボタン
(▲/▼/◀/▶)
- USBケーブルまたはリモートレシーバを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、マウスボタンとして働きます。
- メニュー設定・調整に使用します。

37 L-CLICKボタン
USBケーブルまたはリモートレシーバを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、左クリックボタンとして働きます。

31 KEYSTONE
(台形補正)ボタン
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

36 AUTO SYNC
(自動同期調整)ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

35 ECO＋QUIET
(エコ＋静音)ボタン
「エコ＋静音」モードを「入」にすると消費電力が低減すると同時にファン音も小さくなります。また、ランプ寿命が長くなります。(明るさも低減します。)

28 ON(電源入)ボタン
電源を入れます。

36 FREEZE(静止画)ボタン
映像を静止画の状態にします。

32 AV MUTE(AVミュート)ボタン
プロジェクターからの映像と音声を一時的に消します。

32 VOL ＋/－(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

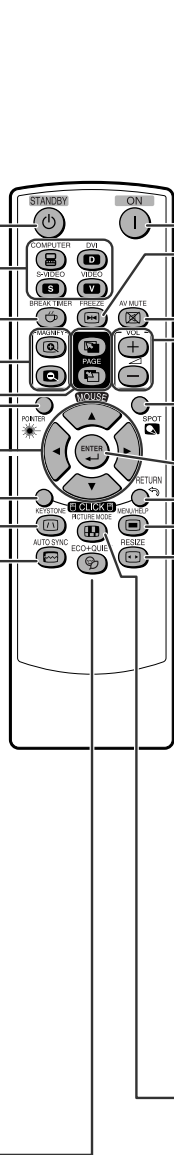
35 SPOT(スポット)ボタン
スポットライト画面に切り換わります。
▲/▼/◀/▶でスポットライト表示位置を移動できます。

41 ENTER(決定)ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

37 **41** R-CLICK/RETURN
(右クリック/戻す)ボタン
- USBケーブルまたはリモートレシーバを使ってパソコンのUSB端子に接続しているときに、右クリックボタンとして働きます。
- メニュー画面操作時、前画面に戻します。

41 **53** MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタン
各種設定・調整用の画面やヘルプ画面を表示します。

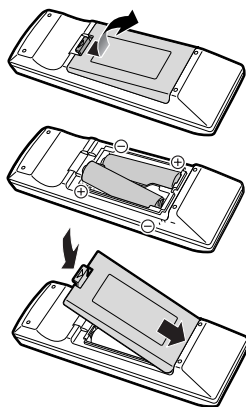
33 RESIZE(画面サイズ切換)
ボタン
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

36 PICTURE MODE(映像モード) ボタン
ゲームなどの投映画像に合わせて最適な映像を選びます。

乾電池の入れかた

1 裏ぶたのツメを押して、矢印の方向に開ける

2 付属の乾電池を入れる

・プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れて下さい。
・新しい電池と交換する際は、アルカリ電池をご使用ください。

3 裏ぶた下部の突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉める

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

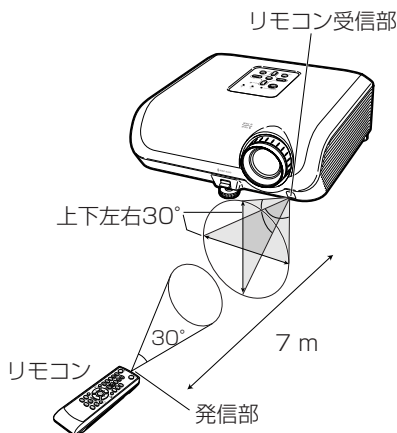
リモコンの使用範囲は図のとおりです。

メモ

・リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

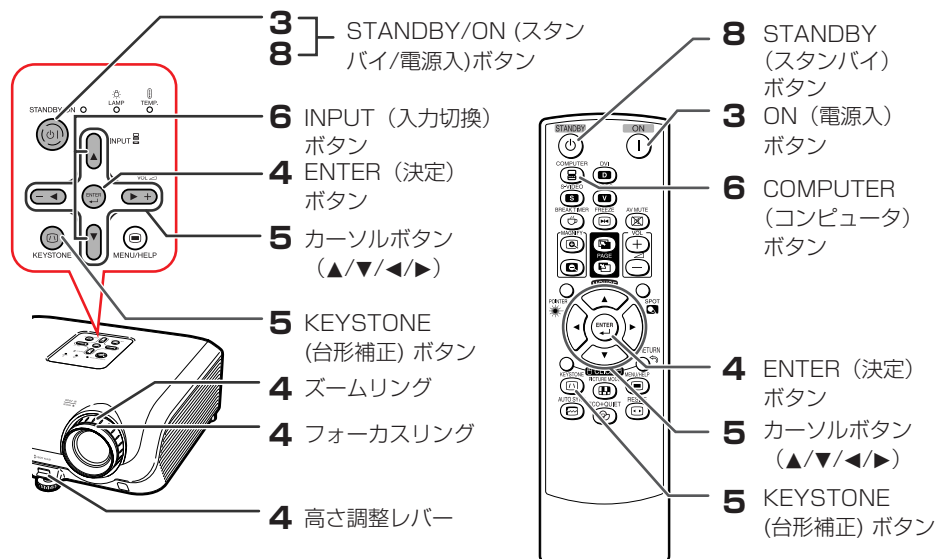
リモコン使用上のご注意

・衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。

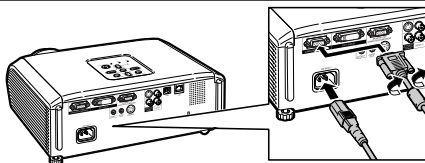
・蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

基本的な使いかた

このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピューターを接続して投映）を説明しています。
詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

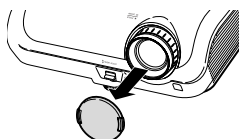
設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。

1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く

➔20ページ

2. 電源コードおよびコンピュータを接続する

ほかの機器を接続する場合は、**24**、**25**ページをご覧ください。

➔23、26、27ページ

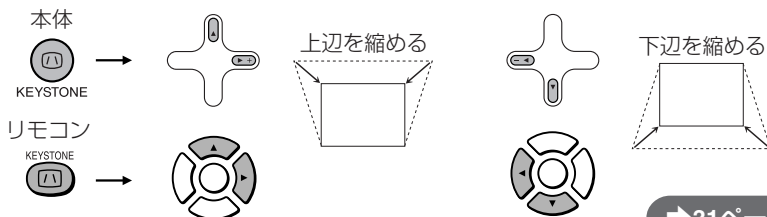
3. レンズキャップを外し、電源を入れる

➔28ページ

4. 投映された画像を調整する

1 本体が起動すると、セットアップガイド画面が表示されます。（セットアップガイド「入」時、47ページ）
2 セットアップガイドに従い、ピント、画像の大きさ、投映角度を調整します。
3 ピント、投映角度、画面サイズを調整したら、**ENTER**を押し、セットアップガイド画面を終了する。

➡29、30ページ

5. 台形歪みを調整する

台形補正で台形の歪みを補正する

リモコン
KEYSTONE

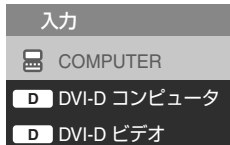
➡31ページ

6. 入力モードを選ぶ

本体のINPUT（入力切換）またはリモコンのCOMPUTER（コンピュータ）で「コンピュータ」を選ぶ

入力切換リスト

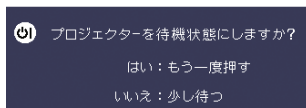
画面表示(RGB信号入力時)

COMPUTER
RGB
1024 × 768

・本体のINPUTを押すと、入力切換リストが表示されます。▲/▼を押して、入力モードを切り換えてください。

➡32ページ

7. PCの電源を入れる

8. 電源を切るときは

本体のSTANDBY/ON（スタンバイ/電源入）、または、リモコンのSTANDBY（スタンバイ）を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

本体
リモコン
➡28ページ

本機を設置する

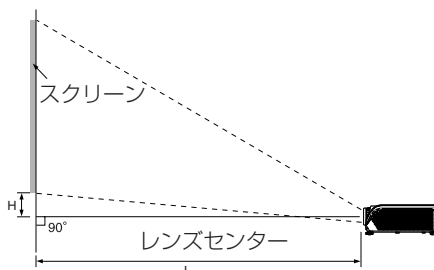
本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で投映すると台形補正の必要がなく、最良の映像が得られます。

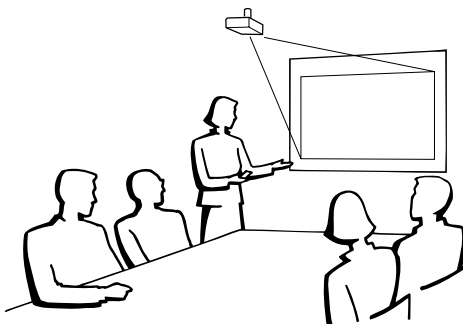
基本的な設置（前面からの投映）

■ 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（**22**ページ）

基本設置例

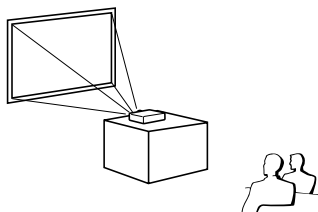
横から見たとき

天井取り付けによる投映

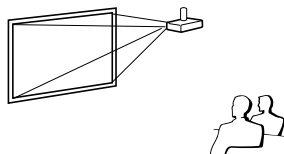
■ 天井に取り付ける場合は、別売の取付ユニットおよび天吊り用取付アダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。別売の天吊り用取付アダプター「AN-60KT」の取り付けは、天吊り用取付アダプターに付属されている説明書をご覧下さい。

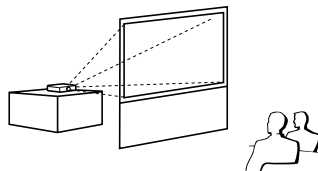
■ 「表示設定」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。（**47**ページ）

投映方式

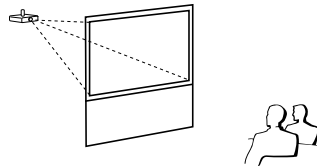
本機は、下図の4通りの投映方式が可能です。設定場所に応じた投映方式を選択してください。
（投映方式の設定は「表示設定」メニューで行うことができます。**47**ページをご覧ください。）

■ 床置き前方投映

メニュー項目→「フロント」

■ 天吊り前方投映

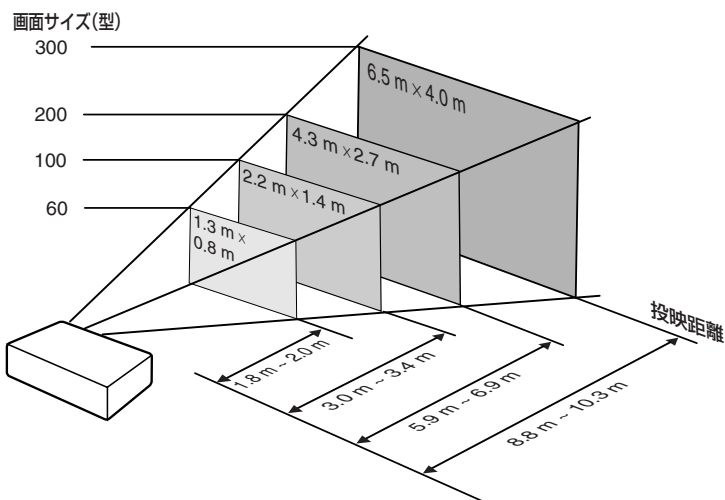
メニュー項目→「天吊り」

■ 床置き後方投映（透過スクリーン使用）

メニュー項目→「リア」

■ 天吊り後方投映（透過スクリーン使用）

メニュー項目→「天吊り+リア」

投映画像の大きさと設置距離のめやす

例: 16:10信号入力時（ 標準モード）

設置する

つづく

本機を設置する(つづき)

画面サイズと投映距離

16:10信号入力時(標準モード)

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)
対角(χ)	幅	高さ	最短(L1)	最長(L2)	
300型	6.46 m	4.04 m	8.8 m	10.3 m	32 cm
250型	5.38 m	3.37 m	7.4 m	8.6 m	27 cm
200型	4.31 m	2.69 m	5.9 m	6.9 m	22 cm
150型	3.23 m	2.02 m	4.4 m	5.1 m	16 cm
120型	2.58 m	1.62 m	3.6 m	4.1 m	13 cm
100型	2.15 m	1.35 m	3.0 m	3.4 m	11 cm
80型	1.72 m	1.08 m	2.4 m	2.7 m	9 cm
60型	1.29 m	0.81 m	1.8 m	2.0 m	6 cm
40型	0.86 m	0.54 m	1.2 m	1.4 m	4 cm

χ:画面サイズ(型)
L:投映距離(m)
L1:最短投映距離(m)
L2:最長投映距離(m)
H:レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式
L1=0.02952χ
L2=0.03408χ
H=0.10828χ

4:3信号入力時(標準モード)*ビデオ入力時は、ズームモードとなります。(34ページ)

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)
対角(χ)	幅	高さ	最短(L1)	最長(L2)	
300型	6.10 m	4.57 m	10.0 m	11.6 m	37 cm
250型	5.08 m	3.81 m	8.3 m	9.7 m	31 cm
200型	4.06 m	3.05 m	6.7 m	7.8 m	24 cm
150型	3.05 m	2.29 m	5.0 m	5.8 m	18 cm
120型	2.44 m	1.83 m	4.0 m	4.6 m	15 cm
100型	2.03 m	1.52 m	3.4 m	3.8 m	12 cm
80型	1.63 m	1.22 m	2.7 m	3.1 m	10 cm
70型	1.42 m	1.07 m	2.3 m	2.7 m	9 cm
60型	1.22 m	0.91 m	2.0 m	2.3 m	7 cm
40型	0.81 m	0.61 m	1.3 m	1.5 m	5 cm

χ:画面サイズ(型)
L:投映距離(m)
L1:最短投映距離(m)
L2:最長投映距離(m)
H:レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式
L1=0.03341χ
L2=0.03853χ
H=0.12248χ

メモ

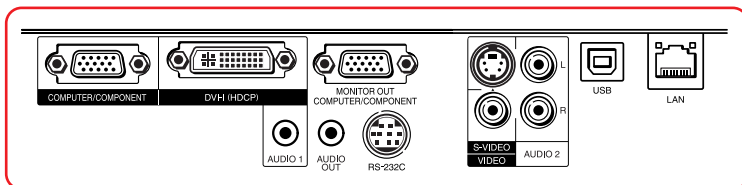
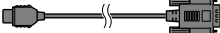
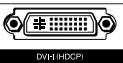
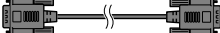
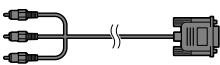
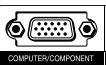
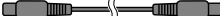
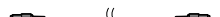
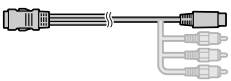
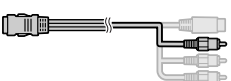
- 投映距離(L)とレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)の関係については、**20**ページをご覧ください。
- 上記表の寸法は若干の誤差があります。

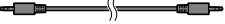
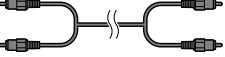
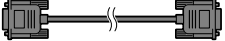
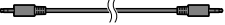
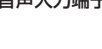
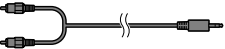
外部機器と接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

> **注意:**
> 接続した機器の電源は、必ずプロジェクターで入力を選択した後に入れてください。

・使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

本体側端子

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ	RGB映像出力端子	RGBケーブル（付属品）	COMPUTER/ COMPONENT
	RGB映像出力端子	ミニD-sub15ピン/DVI変換ケーブル（市販品）	DVI-I
	DVIデジタル出力端子	DVIデジタルケーブル（市販品）	

メモ

・対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号（推奨信号）について」（**65**ページ）をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
・Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター（**68**ページ）へお問い合わせください。
・お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型コンピュータでは、FnキーとF5キーを同時に押すと外部出力ポートが有効になります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

つづく

外部機器と接続する(つづき)

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
映像機器	HDMIデジタル出力端子	DVI/HDMIデジタルケーブル（市販品）	DVI-I
	DVIデジタル出力端子	DVIデジタルケーブル（市販品）	
	コンポーネント映像出力端子	3RCA/ミニD-sub15ピン変換ケーブル（別売品：AN-C3CP2）	COMPUTER/COMPONENT
	S映像出力端子	S映像ケーブル（市販品）	S-VIDEO
	映像出力端子	映像ケーブル（市販品）	VIDEO
カメラ、ゲーム機	コンポーネント映像出力端子	専用ケーブル：3RCA/ミニD-sub15ピン変換ケーブル（別売品：AN-C3CP2） 中継プラグ（市販品）	COMPUTER/COMPONENT
	S映像出力端子	専用ケーブル	S-VIDEO
	映像出力端子	専用ケーブル	VIDEO

メモ

- HDMI出力端子付きのAV機器を本体のDVI入力端子に接続したとき、本機に入力される信号は映像信号のみです。（音声はAUDIO入力端子に別に接続してください。）
- 接続するAV機器や変換ケーブルの仕様によっては、正常に動作しない場合があります。（DVI/HDMIデジタル変換ケーブルを仕様した接続は、HDMI規格の認証外であり、全てのHDMIデジタル出力端子付きAV機器との接続を保証するものではありません。）
- 接続に関する互換性について詳しくは、接続するAV機器製造元のDVI接続のサポート情報で確認してください。

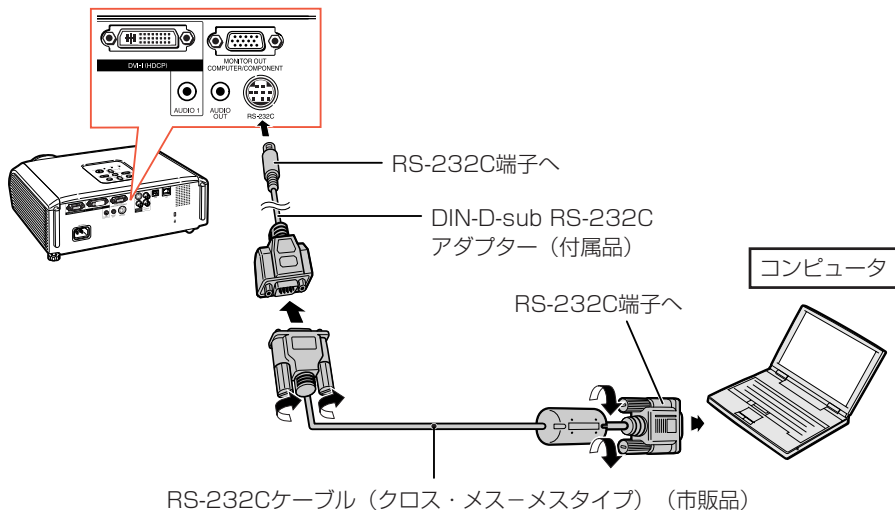
接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
音声機器	φ3.5 mm 音声出力端子	音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニジャック、市販品）	AUDIO 1
	音声出力端子	音声ケーブル（市販品）	AUDIO 2
	音声出力端子	専用ケーブル	AUDIO 2
モニター	RGB映像入力端子	RGBケーブル（付属品または市販品）	MONITOR OUT
アンプ、オーディオ機器	φ3.5 mm 音声入力端子	音声ケーブル（φ3.5 mmステレオミニジャック、市販品）	AUDIO OUT
	音声入力端子	音声ケーブル（RCA/φ3.5 mmステレオミニジャック、市販品）	

メモ

・コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。
・音声入力端子は、メニューの「音声入力端子」で「Audio 1」か「Audio 2」を選択することができます。詳しくは**49**ページをご覧ください。
・RGB信号およびコンポーネント（色差）信号をモニター出力することができます。

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。詳しくは同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

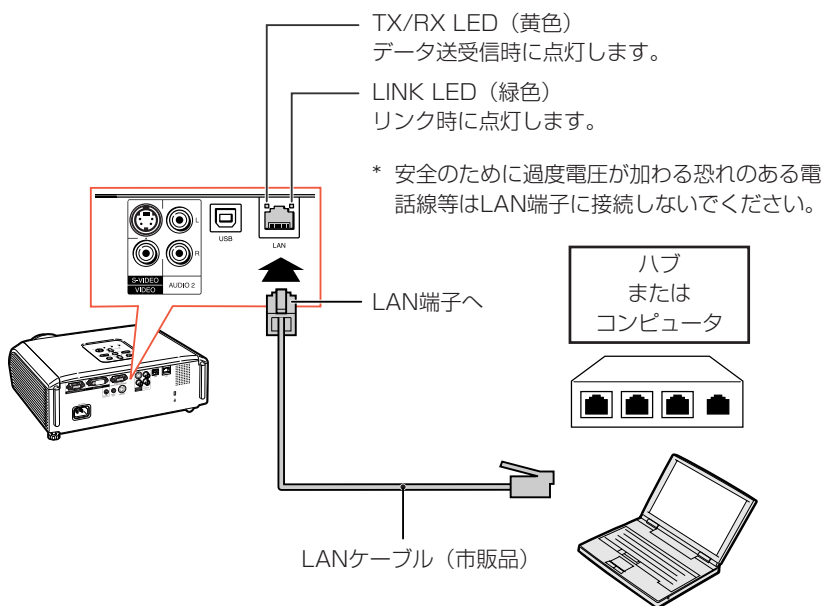
コンピュータをRS-232CケーブルとDIN-D-sub RS-232Cアダプターを使って接続するとき

メモ

・RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
・RS-232Cの仕様とコマンドについては、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

お知らせ

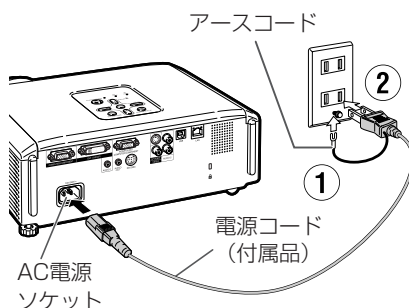
・コンピュータ側のシリアル(RS-232C)ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
・コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

プロジェクターのLAN端子にLANケーブルを接続するとき

メモ

- LANケーブルはカテゴリー5を使用してください。
- コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブルを使用してください。
- ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。

電源コードを接続する

プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

電源の入れかた/切りかた

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続・電源コードの接続を済ませておいてください。
（23～27ページ）

レンズキャップを外し、本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのONを押す

・電源表示が緑色で点灯します。
・ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。

メモ

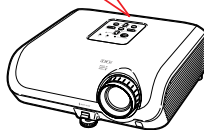
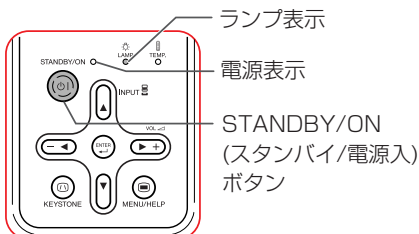
・**ランプ表示について**
動作状況を以下のようにお知らせします。
緑色点灯：ランプ点灯中
緑色点滅：ランプ起動中
赤色点灯：ランプが正常に起動しない（点灯しない）/ランプ交換
・電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
・プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ（光源）が起動するまで多少時間がかかる場合があります。
・システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。解除するには、設定したキーコードを入力する必要があります。詳しくは**49**～**50**ページをご覧ください。

お知らせ

・**「自動復帰モード」が「入」に設定されているとき：**
プロジェクターが電源オン状態で電源コードをコンセントから抜いたとき、あるいはブレーカーを切った場合、再び電源コードをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れたときにプロジェクターは自動的に起動します。

電源を切る（待機状態にする）とき

本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのSTANDBYを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

・電源を切った後、約1分間は冷却ファンが作動します。冷却中は、電源を入れることができません。
・冷却ファンが停止した後に電源コードを抜いたとき、再度冷却ファンが回転する場合があります。

画面表示（確認画面）

お知らせ

・**ダイレクトパワーオフ機能：**
本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。
・本機から電源コードを抜いたあとも、冷却ファンはしばらく（約1分間）作動し続けます。

投映のしかた

セットアップガイドについて

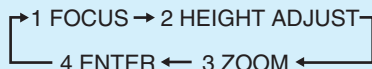
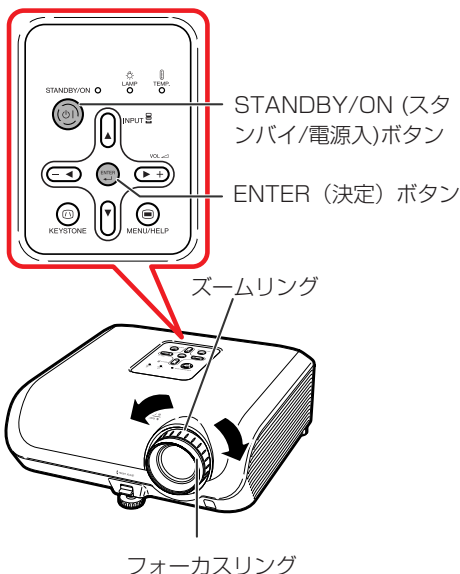
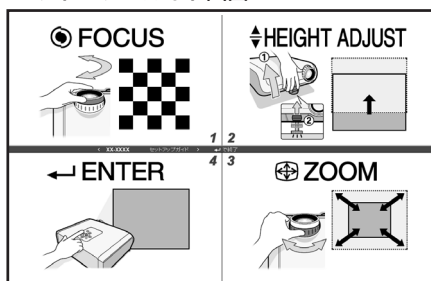
電源を入れるとセットアップガイド画面が表示されます。ここでは投映に必要な基本的な設置・設定の手順をお知らせします。

ガイド項目

1 ピント合わせ（FOCUS）
2 投映角度調整（HEIGHT ADJUST）
3 ズーム調整（ZOOM）

セットアップガイド画面

セットアップガイド画面を終了するときはENTERを押す

メモ

・セットアップガイド画面は、
1 FOCUS → 2 HEIGHT ADJUST → 3 ZOOM → 4 ENTER
の順番で自動的に切り換わりますが、表示されている項目に関わらず、ピント合わせ、投映角度調整、ズーム調整を行うことができます。
・本体の電源を入れたときにセットアップガイド画面を表示させたくない場合は、「メニュー」－「表示設定」－「セットアップガイド」を「切」に設定して下さい。（**47**ページ）

投映画像を調整する

1 投映映像のピントを調整する

フォーカス（ピント）調整は本体で行います。

画面を見ながらフォーカスリングをまわして調整する

2 投映映像の大きさを調整する

ズーム操作は本体で行います。

ズームリングをまわして拡大/縮小する

つづく

3 アジャスターを使って投映角度を調整する

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。

また、プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。

1 高さ調整レバーを引き上げたまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

2 お好みの高さになったところで、高さ調整レバーから手を離す

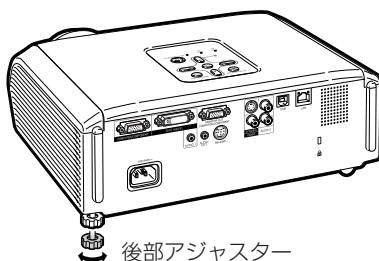
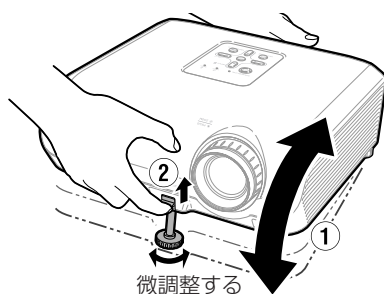
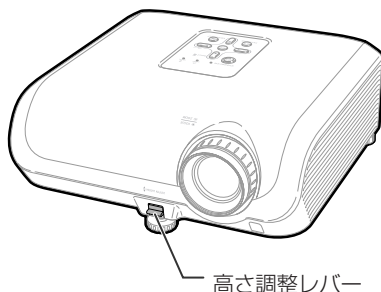
・プロジェクターは水平に置いた状態から8度まで角度調整することができます。

3 左右の傾きを補正するときは後部アジャスターで調整する

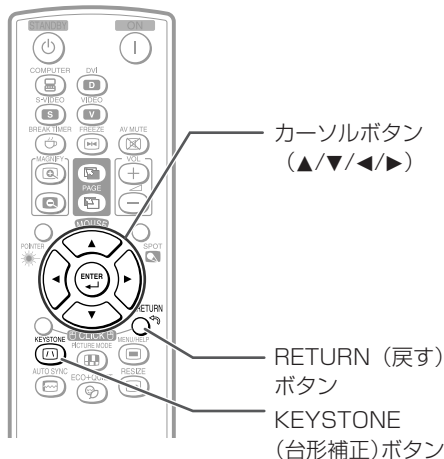
・設置位置から±1度補正することができます。

・投映角度を調整すると投映画像が台形に歪みます。補正する場合は台形補正機能を設定します。詳しくは**31**、**46**ページをご覧ください。

お知らせ

・アジャスターが出ている状態で、過度な力を加えないでください。アジャスターが破損するなど、故障の原因となります。
・プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。
・プロジェクターはしっかり持ってお取り扱いください。
・レンズ部を持たないでください。

画面の台形歪みを補正する（台形補正）

画面の台形歪み補正が行えます。

※台形補正とは
・映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、画像が台形に歪みます。
この台形の歪みを補正する機能が台形補正です。
・台形補正で補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約40度までです。
画面サイズ：「標準」（コンピュータ入力信号の場合）／「ズーム」（ビデオ入力信号の場合）

1 KEYSTONEを押す

・台形補正画面になります。
・本体の**KEYSTONE**でも表示できます。

2 ▲/▶または◀/▼を押し、調整する

・本体のカーソルボタンを使って台形補正値を調整することもできます。

・台形補正調整を取り消すときは、台形補正画面が表示されている間に**RETURN**を押します。

3 KEYSTONEを押す

・台形補正画面が解除されます。

お知らせ

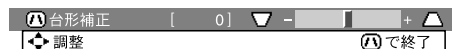
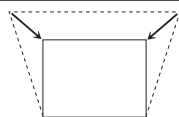
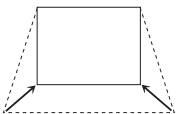
・台形補正を行うと、調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。

画面表示（台形補正画面）

上辺を縮める（補正値を+方向へ）

下辺を縮める（補正値を−方向へ）

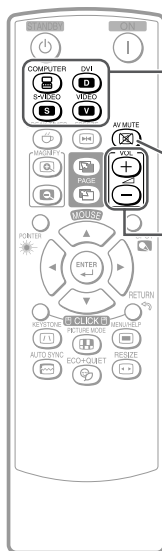
使ってみる

つづく

投映のしかた(つづき)

入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力を選択します。

リモコンのCOMPUTER、DVI、S-VIDEO、VIDEOを押し、入力を選ぶ

・本体の**INPUT**を押すと、入力切換リストが表示されます。▲/▼を押して、入力モードを切り換えてください。
・**INPUT**を押したときに表示される信号は、有効走査線数です。（**65**ページ）

COMPUTER（コンピュータ）、DVI、S-VIDEO（S映像）、VIDEO（映像）ボタン

AV MUTE（AVミュート）ボタン

VOL+/−（音量）ボタン

本体の音量を調整する

リモコンのVOL +/−または本体の−◀/▶+を押し、スピーカーの音量を調整する

メモ

・**VOL −/−◀**を押すと音量が小さくなります。
・**VOL +/▶+**を押すと音量が大きくなります。
・外部機器接続時は、外部機器の音量も調整できます。
・外部機器接続時、本体のスピーカーから出力される音声を消したいときは、「メニュー」−「本体設定」−「スピーカー」で「切」に設定します。（**48**ページ）

画面表示

25

投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンのAV MUTEを押す

メモ

・もう一度**AV MUTE**を押すと、投映画像に戻ります。

画面表示

AV ミュート

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、お好みの画面サイズに切り換えることができます。表を参考に最適な画面サイズを選んでください。

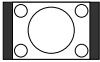
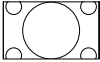
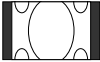
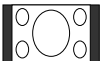
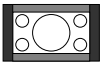
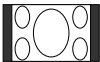
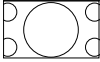
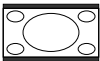
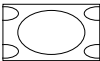
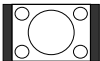
RESIZEを押す

・メニューで設定する場合は**46**ページを参照してください。

コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット	スクイーズ
縦横比4：3	SVGA (800×600)	1068×800	1280×800	800×600	1280×720
	XGA (1024×768)			1024×768	
	SXGA (1152×864)			1152×864	
	SXGA+ (1400×1050)			1400×1050	
その他	SXGA (1280×1024)	1000×800		1280×1024	
	1280×720	1280×720		—	—
	1360×768	1280×722		1360×768	
	1366×768	1280×720		1366×768	
	1280×768	1280×768		—	1280×720
	1280×800	1280×800	—		

入力信号		表示イメージ			
コンピュータ	画像タイプ	標準	フル	ドットバイドット	スクイーズ
XGAまたはXGAより解像度が低い	縦横比 4:3				*1
XGAより解像度が高い				*3	
SXGA (1280×1024)	縦横比 5:4				*1
1280×720	縦横比 16:9	*1		—*2	—*2
1360×768 1366×768	縦横比 16:9				
1280×768	縦横比 15:9	*1		—*2	*1
1280×800	縦横比 16:10		—*2		*1

■：マスクされ映像がない部分
□：パネルからはみ出た信号部分
＊1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
＊2 標準モードと同じになります。
＊3 SXGA+入力の場合です。

つづく

投映のしかた(つづき)

DTV／ビデオ

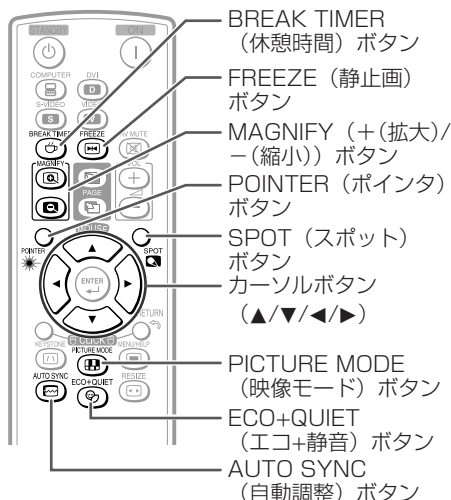
入力信号		表示イメージ			
DTV/ビデオ	画像タイプ	ズーム／標準	エリアズーム	Vーストレッチ	スクイーズ
525I、525P、625I、625P、NTSC、PAL、SECAM	縦横比 4:3				*1
	スクイーズ				*1
	レターボックス				*1
750P、1125I、1125P	縦横比 16:9	*1			— *2
	縦横比 16:9	*1			

■：マスクされ映像がない部分
■：元の信号自体に映像がない部分
*1 これらの画像でイメージシフト機能を使用できます。
*2 標準モードと同じになります。

- 入力信号によって選択できる拡大倍率は異なります。
- DTV／ビデオ信号入力時、信号により画面サイズ切換表示が変わります。
- 525I、525P、625I、625P、NTSC、PAL、SECAM信号入力時はズーム→エリアズーム→Vーストレッチ→スクイーズとなります。
- 750P、1125I、1125P信号入力時は標準→エリアズーム→Vーストレッチとなります。

著作権について

- 本機のRESIZE(画面サイズ切換)機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズ(表示イメージ)を選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズ(表示イメージ)を選択してください。
- 映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、RESIZE(画面サイズ切換)機能やキーストーン補正機能を利用して映像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、RESIZE(画面サイズ切換)機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画面周辺部が一部見えなくなったり、変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になる場合は、RESIZE(画面サイズ切換)は「標準」でご覧ください。

リモコンで投映画像を操作する

休憩時間表示を設定する

1 BREAK TIMERを押す

・休憩時間のカウントダウンが始まります。

画面表示

☕ 5：00

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで休憩時間の長さを調整する

- **▲ または ▶ で増える**

  5分 → 6分 → … → 60分

- **◀ または ▼ で減る**

  4分 → 3分 → … → 1分

・設定は1分単位で設定できます。(最大60分)

休憩時間表示を解除したいとき

BREAK TIMERを押す

・自動同期調整中、静止画、AVミュートを行っているときは、休憩時間表示が働きません。

ポインタを使用する

1 POINTERを押す。リモコンの▲/▼/◀/▶を押して、ポインタを動かしてください。

2 もう一度POINTERを押す。

・ポインタが消えます。

スポット機能を使用する

1 SPOTを押す。リモコンの▲/▼/◀/▶を押して、スポットエリアを動かしてください。

2 もう一度SPOTを押す。

・スポットエリアが消えます。

消費電力を低減する(「エコ＋静音」モード)

ECO+QUIETを押すたびに「エコ+静音」モードの入と切が交互に切り換わります。

・「エコ+静音」モードを「入」にすると消費電力が低減すると同時にファン音も小さくなります。また、ランプ寿命が長くなります。(明るさも低減します。)

・エコ+静音モードについて詳しくは、**45**ページの「ランプ設定」をご覧ください。

便利な機能

つづく

コンピュータから入力された画面を自動同期調整する(自動同期調整機能)

本体起動後に新たな映像信号を検出すると、自動同期調整機能が働きます。AUTO SYNCを押すと強制的に自動同期調整機能が働きます。

・自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、ヘルプメニュー(**53**ページ)から手動で同期調整を行ってください。

投映中の画像を静止画にする

FREEZEを押す

・投映中の画像が静止画になります。

FREEZEを再度押す

・接続した機器の現在の画像に戻ります。

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

PICTURE MODEを押す

・押すたびに

→標準→プレゼンテーション→シネマ→ゲーム→sRGB*

の順番で切り換わります。

・映像モードについて、詳しくは**43**ページをご覧ください。

* 「sRGB」はRGB信号が入力されているときのみ表示されます。

画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

1 リモコンのMAGNIFY を押す

・×2の倍率に拡大されます。
・ (拡大)または (縮小)で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

・▲/▼/◀/▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。

2 リモコンのRETURNを押し解除する

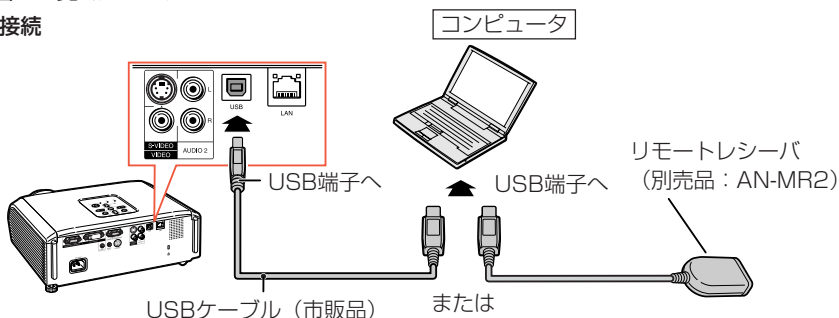
・倍率は×1に戻ります。

・入力信号によって選択できる拡大倍率は異なります。
・次の場合、拡大された画像がもとの大きさ(×1)に戻ります。
—入力切換を行ったとき
—**RETURN**を押したとき
—画面サイズを変更したとき
—入力信号を変更したとき
—入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき
—映像モードを変更したとき
—プログレッシブモードを変更したとき

リモコンをワイヤレスマウスとして使用する

市販のUSBケーブルで本体とコンピュータを接続すると、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで行うことができます。

本体とコンピュータがUSBケーブルでは届かない場所に設置されている場合は、リモートレシーバ(別売品:AN-MR2)を使うと、リモコンでのマウス操作ができます。詳しくはリモートレシーバの取扱説明書をご覧ください。

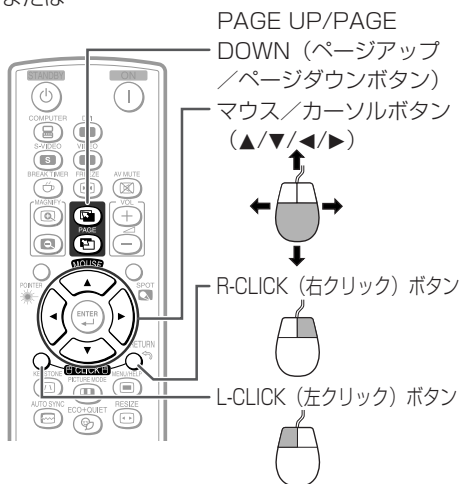
USB接続

接続した後は、マウスポインタを次のように操作できます。

■カーソルを動かすとき
マウス/カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）を押します。

■左クリックするとき
L-CLICKを押します。

■右クリックするとき
R-CLICKを押します。

■クリックボタンがひとつのマウス（Macintoshなど）の場合
L-CLICKまたは**R-CLICK**を押します
（**L-CLICK**と**R-CLICK**は同じ働きをします。）

■ページアップやページダウンをするとき
PAGE UPまたは**PAGE DOWN**を押します
（コンピュータの「Page Up」「Page Down」ボタンと同じ働きをします。）

メモ

・この機能はMicrosoft® Windows® OSとMac® OSでのみ働きます。
・ただし、OSがWindows® 95以前、Windows® NT4.0以前または、Mac® OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため働きません。
・コンピュータ側でUSB接続が認識されたことを確認してください。
・画面表示とメニュー画面が表示されているとマウス機能の操作はできません。

メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー

1ページ目

2ページ目

メインメニュー　　サブメニュー

- 映像調整 ➡43ページ
  - 映像モード ➡43ページ
    - 標準
    - プレゼンテーション
    - シネマ
    - ゲーム
    - sRGB *1
  - コントラスト -30 ↔ +30
  - 明るさ -30 ↔ +30
  - 色の濃さ -30 ↔ +30 *2
  - 色あい -30 ↔ +30 *2
  - シャープネス -30 ↔ +30 *2
  - 赤 -30 ↔ +30
  - 青 -30 ↔ +30
  - ➡44ページ
  - 色温度 -1 ↔ 1 ➡44ページ
  - BrilliantColor™ 0 ↔ 2 ➡44ページ
  - C.M.S 設定 ［入 / 切］ ➡44ページ
  - C.M.S ➡44ページ
  - プログレッシブ *2 ➡45ページ
    - 2Dプログレッシブ
    - 3Dプログレッシブ
    - フィルム
  - ランプ設定 ➡45ページ
    - 明るさ優先
    - エコ＋静音
  - リセット

「C.M.S.」

- カラーマネージメントー色相 ➡44ページ
- カラーマネージメントー彩度 ➡44ページ
- カラーマネージメントー明度 ➡44ページ
- リセット
  - R（赤） -30 ↔ +30
  - Y（黄） -30 ↔ +30
  - G（緑） -30 ↔ +30
  - C（シアン） -30 ↔ +30
  - B（青） -30 ↔ +30
  - M（マゼンタ） -30 ↔ +30
  - リセット

*1 COMPUTER入力またはDVI入力にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

*2 COMPUTER入力またはDVI入力にコンポーネント信号が入力されているとき、またはS-VIDEO入力、VIDEO入力を選択しているときに設定できる項目です。

「表示設定」メニュー

「本体設定」メニュー

つづく

メニュー内容一覧(つづき)

「ネットワーク」メニュー

「ヘルプ」メニュー

ヘルプメニューで設定できる項目

「ヘルプ」メニュー⇒53ページ

■映像に縦縞模様やチラツキが出る

自動同期調整

クロック

水平位相

■映像と画面サイズが一致しない

自動同期調整

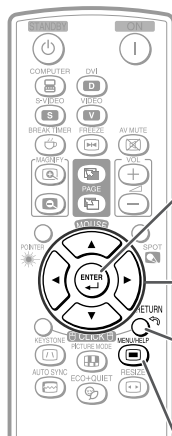
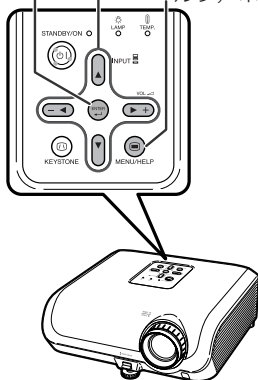
水平位置

垂直位置

■色がうすい、色あいが悪い

- コンピュータ／コンポーネント、DVI入力選択時
  入力信号タイプ : 自動 /RGB/ 色差
- S映像、映像入力選択時
  映像信号方式 : 自動/PAL/SECAM/NTSC4.43/NTSC3.58/PAL-M/PAL-N/PAL-60
- DVI(デジタル)入力
  ダイナミックレンジ : 自動／標準／特殊

* 設定できる項目は、入力されている信号や選択している入力で変わります。

メニュー操作のしかた

ENTER（決定）ボタン

メニュー画面で調整する

例:「明るさ」を調整するとき

・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENU/HELPを押す

・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ▶または◀を押し、調整するメニュー項目「映像調整」を選ぶ

COMPUTER（RGB）入力の「映像調整」メニュー画面例

メニュー項目

メニュー操作のしかた(つづき)

3 ▲または▼を押し、調整する項目「明るさ」を選ぶ

・選ばれた調整項目の色が変わります。

調整可能項目

投映している画像を見ながら調整したいとき

ENTERを押します。

・選んだ項目(例:「明るさ」など)が画面下へ単独表示されます。

・この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「赤」)が表示されます。

ENTERを押す

<単独表示>

明るさ [0]

で選択/調整 でメニューに戻る で終了

メモ

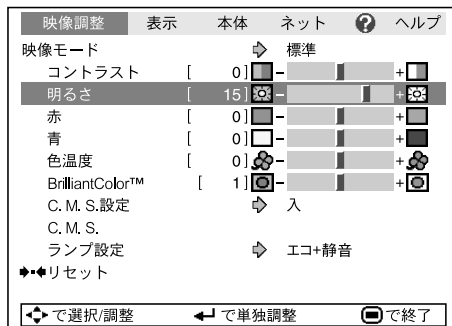
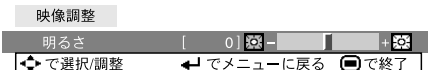
・再度**ENTER**を押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

・調整した内容が保存されます。

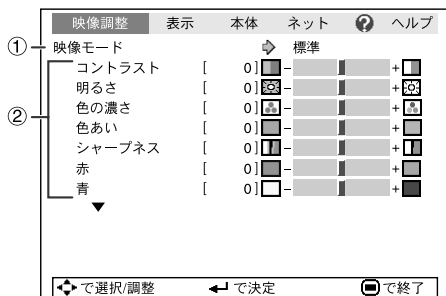
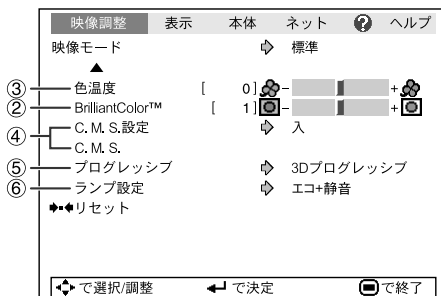
5 MENU/HELPを押す

・メニュー画面が消えます。

メモ

・自動同期調整中、休憩時間表示中、静止画、AVミュートを行っているときは、**MENU/HELP**が働きません。

投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)

操作方法⇒41ページ参照

▶ ページ1

▶ ページ2

① 映像モードを選ぶ

選択項目	内容	映像モードを選んだときの初期設定内容		
		色温度	BrilliantColor™	ランプ設定
標準	標準の設定です。	0	1	明るさ優先
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。	0	2	明るさ優先
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。	-1	0	エコ+静音
ゲーム	くっきり感を重視した映像を投映したいときに設定します。	0	1	明るさ優先
*sRGB	コンピュータの映像を忠実に再現したいときに設定します。	—	—	明るさ優先

・「sRGB」はRGB信号が入力されているときのみ表示されます。
・映像調整メニュー内の各項目は、お好みに応じた組み合わせに変更できます。変更した内容はそのまま記憶されます。

メモ

・リモコンの**PICTURE MODE**でも選択できます。(**36**ページ)
・∗sRGBはIEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードを選択すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
sRGB機能についてのくわしい情報は、http://www.srgb.com/を参照してください。
「sRGB」を選択しているとき、「赤」「青」「色温度」「BrilliantColor™」は設定できません。

お知らせ

・「sRGB」を選択すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)(つづき)

操作方法⇒41ページ参照

② お好みの映像に調整する

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くする	映像の明部と暗部の差を強くする
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
色の濃さ*1	色をうすくする	色を濃くする
色あい*1	紫がかった色あいにする	緑がかった色あいにする
シャープネス*1	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる
赤*2	赤みを弱くする	赤みを強くする
青*2	青みを弱くする	青みを強くする
BrilliantColor™*2*3	効果を弱くします	効果を強くします

*1 RGB入力のときは表示されません。
*2 「sRGB」を選択しているときは、調整・設定は行えません。
*3 BrilliantColor™は、テキサス·インスツルメンツのBrilliantColor™テクノロジーを使用しており、設定値を大きくすることにより、色再現性を保ちながら高輝度な映像を表現します。

メモ

- 「sRGB」を選択しているときは、「赤」、「青」、「BrilliantColor™」、「色温度」は設定できません。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

③ 色味を変える(色温度設定)

選択項目	内容
-1	赤みがかった映像になります。(温かい感じの色にしたいとき)
0	↕
1	青みがかった映像になります。(すっきりした感じの色にしたいとき)

④ 色を調整する(C. M. S.)

色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。

選択項目	内容
色相	系統色の色相を設定する
彩度	系統色の彩度を設定する
明度	系統色の明るさを設定する
リセット	「色相」、「彩度」、「明度」のすべての色の設定が工場出荷の状態にリセットされます。

色相·彩度·明度の調整のしかた

1 映像調整メニューの「C.M.S.設定」で「入」を選び、ENTERを押す
2 映像調整メニューの「C.M.S.」を選び、ENTERを押す
3 ▲/▼を押し、「色相」「彩度」「明度」のいずれかを選択し、**ENTER**を押す
4 ▲/▼で系統色を選び、◀/▶で調整する

「カラーマネージメントー色相」調整時の例

系統色	◀ボタン	▶ボタン
R(赤)	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく	緑に近づく
G(緑)	黄に近づく	シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく	青に近づく
B(青)	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく	赤に近づく

- 「彩度」の場合、選んだ色を
  ◀:淡くします。 ▶:濃くします。
- 「明度」の場合、選んだ色を
  ◀:暗くします。 ▶:明るくします。
- 各系統色の調整値を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び**ENTER**を押します。

操作方法⇒41ページ参照

⑤ プログレッシブモードを選択する

インターレース映像をくっきりと投映するモードです。

選択項目	内容
2Dプログレッシブ	スポーツなど、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ*映像ソフトを再生するのに適しています。

* 24コマ／秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ／秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

- 映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

⑥ ランプ設定を選択する

選択項目	明るさと消費電力
エコ＋静音	約80%
明るさ優先	100%

メモ

- 「ランプ設定」を「エコ+静音」に設定すると、「明るさ優先」に比べてファン音と消費電力が低減します。投映画面の明るさも低減します。（上記表内を参照してください。）ランプ寿命は「エコ+静音」で約3,000時間、「明るさ優先」で約2,000時間となります。

表示のしかたを設定する(表示設定メニュー)

操作方法⇒41ページ参照

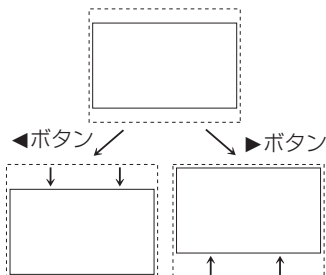
① 画面サイズを設定する

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モードを切り換えることができます。

メモ

- 画面サイズについて詳しくは、**33**〜**34**ページをご覧ください。
- リモコンの**RESIZE**でも設定できます。(**33**ページ)

② 映像の位置を上下方向に調整する(画面シフト)

投映した映像を上下に移動することができます。

メモ

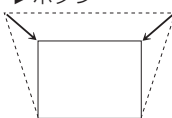
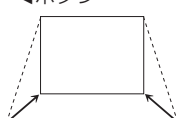
- 画面サイズの種類によっては、この機能は働きません。詳しくは、**33**〜**34**ページをご覧ください。

③ 画面の台形歪みを補正する

自動で補正するとき

「表示設定」メニュー画面の「自動台形補正」を「入」に設定する

手動で補正するとき

「表示設定」メニュー画面の「自動台形補正」を「切」に設定し、「台形補正」を選び調整する

台形補正について詳しくは**31**ページをご覧ください。

メモ

- 台形補正できる角度は、スクリーンに対して±約40度までです。
  画面サイズ:「標準」(コンピュータ入力信号の場合)/「ズーム」(ビデオ入力信号の場合のとき)
- リモコンまたは本体の**KEYSTONE**でも台形補正を調整できます。

操作方法⇒41ページ参照

④ 画面に表示されている情報を表示しないように設定する（画面表示）

選択項目	内容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、画面サイズ表示、映像モード表示、エコ＋静音表示、画面拡大率表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。

⑤ 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する（バックグラウンド設定）

選択項目	内容
ロゴ	SHARPロゴ画面
ブルーバック	青い画面
無し	—

⑥ セットアップガイド表示を設定する

選択項目	内容
入	本体起動時にセットアップガイド画面が表示
切	セットアップガイド画面非表示

・セットアップガイド表示については、**29**ページをご覧ください。

⑦ 投映環境に合わせた投映方式を選択する

本機は投映する環境（場所）に合わせて映像を反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

選択項目	内容
フロント	通常映像（スクリーンの正面から投映するとき）
天吊り	上下反転された映像（プロジェクターを逆さまにしてスクリーンの正面から投映するとき）
リア	左右反転された映像（スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき）
天吊り+リア	左右／上下反転された映像（プロジェクターの映像を鏡を使って投映したとき）

・投映方式について、**21**ページも合わせてご覧ください。

⑧ 画面に表示する言語を選択する（言語選択）

本機は画面表示の言語として15言語を切り換えることができます。

English
Deutsch
Español
Nederlands
Français
Italiano
Svenska
Português
汉语
한국어
日本語
▼

本体機能を設定する(本体設定メニュー)

操作方法⇒41ページ参照

映像 表示 本体設定 ネット ヘルプ

	項目		設定
①	自動同期調整	⇨	入
②	無信号電源オフ	⇨	入
③	自動復帰モード	⇨	入
④	待機状態モード	⇨	標準
⑤	確認音	⇨	入
⑥	スピーカー	⇨	入
⑦	音声入力端子	⇨	Audio 1
⑧	RS-232C	⇨	9600bps
⑨	ファンモード	⇨	標準
⑩	システムロック	⇨	切
⑪	ランプ時間(残率) [0] h [0] min (100%)		

で選択/調整　で決定　で終了

① コンピュータの画面を自動調整する(自動同期調整機能)

選択項目	内容
入	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
切	自動同期調整を行いません。

メモ

- 自動同期調整はリモコンの**AUTO SYNC**を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整(**53**ページ)を行ってください。

② 無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする(無信号電源オフ機能)

選択項目	内容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

- 無信号自動電源オフ機能を「入」に設定したときは、無信号状態が続いたとき、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

③ 自動復帰モード機能

選択項目	内容
入	プロジェクター電源オン状態で電源コードをコンセントから抜いたとき、あるいはブレーカーを切った場合、再び電源コードをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れたときにプロジェクターが自動的に起動します。
切	コンセントに電源コードを差し込んだりブレーカーを入れたりしても、プロジェクターが自動的に起動することはありません。

④ 待機状態モードを設定する

プロジェクターが待機状態のときに“エコ”に設定すると、消費電力が低減します。

選択項目	内容
エコ	プロジェクターが待機状態のときにモニター出力とRS-232C機能がオフになります。
標準	プロジェクターが待機状態でもモニター出力とRS-232C機能が働きます。

⑤ 確認音を設定する

選択項目	内容
入	本体の電源を入/切すると、確認音が出ます。
切	確認音が出ません。

⑥ 内蔵スピーカーの入/切を設定する(スピーカー設定)

選択項目	内容
入	内蔵スピーカーから音声が出ます。
切	内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

⑦ 音声入力端子を選ぶ

映像入力毎に音声入力端子を選択することができます。

選択項目	内容
Audio 1	音声入力端子として「AUDIO 1」端子を使用したいときに選択します。
Audio 2	音声入力端子として「AUDIO 2」端子を使用したいときに選択します。

⑧ RS-232C の通信速度を設定する（RS-232C 設定）

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

選択項目	内容
9600bps 115200bps	通信速度が遅い ↕ 通信速度が速い

⑨ ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

・「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

⑩ プロジェクターを不正に使用できないようにする（システムロック設定）

システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。**設定したキーコードは必ずメモしてください。**

お知らせ

・キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター（**68**ページ）にご相談ください。

操作方法⇒41ページ参照

■ キーコードを設定・変更する

1 「システムロック」を選択し、ENTERまたは▶を押す

2 ▼を押し「次へ」を選び、ENTERを押す

・キーコード入力画面が表示されます。

3 リモコンまたは本体のボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

・はじめて設定するときは、本体の▼を4回押してください。

メモ

・誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力行のはじめに戻ります。
・本機はあらかじめ本体の▼ ボタン4つがキーコードとして設定されています。本体の▼ボタン4つは、キーコード入力画面を表示させせないようにするコードです。

4 リモコンまたは本体のボタンを押し、「新コード」の欄に新しい4つのキーコードを入力する

メモ

・次のボタンはキーコードとして設定することができません。:**STANDBY/ON（本体）、ON（リモコン）、STANDBY（リモコン）、ENTER、L-CLICK、R-CLICK/RETURN、MENU/HELP**
・リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンでは解除することができません。

つづく

操作方法⇒41ページ参照

5 「確認」欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

設定したキーコードを解除したいとき
- 手順4と手順5で本体の▼を4回押してください。

システムロックが設定されているとき
- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れたあとにキーコード入力画面が表示されますので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

キーコード入力画面

システムロック ‒ ‒ ‒ ‒

⑪ ランプ使用時間を確認する(ランプ時間(残率))

ランプの使用時間と残率が表示されます。

ランプ使用条件		ランプ使用可能時間	
	残率表示	100%	5%
常に「ランプ設定」を「エコ+静音」にして使用		約3,000時間	約150時間
常に「ランプ設定」を「明るさ優先」にして使用		約2,000時間	約100時間

メモ
- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

本体の操作ボタンをロックする(キーロック機能)

本体天面のボタンをロックし、使用中の誤操作やいたずらを防止することもできます。

■キーロックの設定のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の**ENTER**を約5秒間押し続ける

画面表示

キーロック ON

- キーロックをした状態で本機を操作したいときは、リモコンで操作してください。
- 「起動中」と画面表示されているときにはキーロックの設定が行えません。

■キーロックの解除のしかた

本体の電源が入っているときに、本体の**ENTER**を約5秒間押し続ける

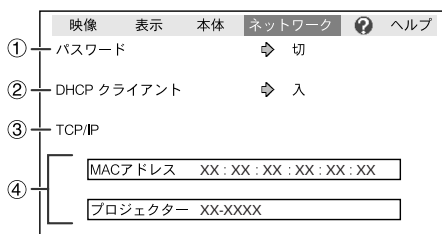
画面表示

キーロック OFF

- 本体が待機状態のときに、本体の**ENTER**と**STANDBY/ON**を同時に約5秒間押し続けてもキーロックは解除できます。

お知らせ
- セットアップガイド表示中、メニュー画面表示中、スタンバイ中、起動中、入力切換中、自動同期調整中、フリーズ中、起動時システムロック画面表示中は、キーロックが設定できません。

本機のネットワーク設定をする(ネットワークメニュー)

操作方法⇒41ページ参照

① パスワードを設定する

「ネットワーク」メニューを他の人に操作されたくないときは、パスワードの設定をしてください。

■パスワードを設定する

1 「パスワード」を選び、ENTERまたは▶を押す

・パスワード入力画面になります。

ネットワーク
パスワードの設定
旧パスワード　- - - -
新パスワード　- - - -
確認　- - - -

2 ▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選び、▶を押す

3 同様に残りの3桁を入力し、ENTERを押す

・ひとつ前の桁に戻る時は、◀を押します。

4 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、ENTERを押す

・「パスワード」が「入」になります。

・「ネットワーク」メニューを使うときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

■パスワードを変更する

1 「パスワード」を選び、ENTERまたは▶を押す

・パスワード入力画面になります。

2 ▲、▼、▶または◀を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

3 ▲、▼、▶または◀を使って、「新パスワード」の欄に新しいパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

4 ▲、▼、▶または◀を使って、「確認」の欄にもう一度同じパスワードを4桁入力し、ENTERを押す

・パスワードを未設定状態にしたいときは、手順**3**と手順**4**でパスワードを入力しないで**ENTER**を押してください。
・設定を途中で止めるときは、**RETURN**を押してください。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除した後、あらためてパスワードを設定してください。

本体のボタン

を順に押す

・**ENTER**を5秒以上押すと、キーロック状態になります。(**50**ページ)
・パスワードを解除するときは本体のボタンを押してください。

便利な機能

つづく

操作方法⇒41ページ参照

② DHCPクライアント機能を設定する

LANケーブルは、本機の電源を入れる前に接続します。(電源を入れた後にLANケーブルを接続すると、DHCPクライアント機能が働きません。)

選択項目	内容
入	TCP/IP設定値を自動的に取得します。
切	TCP/IPを自分で入力します。

「DHCPクライアント」の「入」を選び、**ENTER**を押すと、「IPアドレス取得中」とメッセージが表示された後、メニュー画面に戻ります。「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」が正しく設定されているかTCP/IPの画面で確認してください。

DHCPサーバーが見つからなかった場合は、「IPアドレスを取得できませんでした。」とメッセージが表示されます。

このときは、TCP/IPを自分で入力してください。(「③ TCP/IPを設定する」参照)

③ TCP/IPを設定する

TCP/IPを自分で入力します。

1 「DHCPクライアント」の「切」を選び、ENTERを押す

2 「TCP/IP」を選び、ENTERを押す

3 ▲、▼、▶と◀を使って「IPアドレス」を入力し、ENTERを押す

ネットワーク

TCP/IPの設定

IPアドレス	192.168.150.002
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	000.000.000.000

4 ▲、▼、▶と◀を使って「サブネットマスク」を入力し、ENTERを押す

5 ▲、▼、▶と◀を使って「ゲートウェイ」を入力し、ENTERを押す

選択項目	内容
IPアドレス	出荷設定値： 192.168.150.002 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	出荷設定値： 255.255.255.000 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	出荷設定値： 000.000.000.000 * 使用しない場合は「000.000.000.000」に設定してください。

メモ

・使用しているネットワークのセグメント(IPアドレスのグループ)をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのIPアドレスと重複しないように設定してください。IP アドレス「192.168.150.XXX」のネットワークにて、「192.168.150.002」が未使用の場合は、本機のIPアドレスを変更する必要はありません。
・各設定値について詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

④ 本機の情報を確認する

プロジェクターの情報を確認できます。確認できる項目はMACアドレスとプロジェクター名です。

表示項目	内容
MACアドレス	本機のMACアドレスが表示されます。
プロジェクター	本機に設定しているプロジェクター名が表示されます。

メモ

・プロジェクター名の変更のしかたについては同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

操作に困ったときは(ヘルプメニュー)

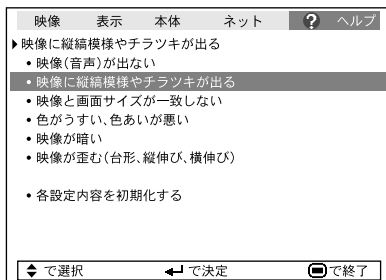
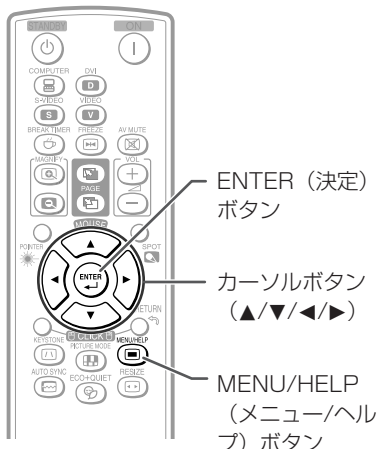
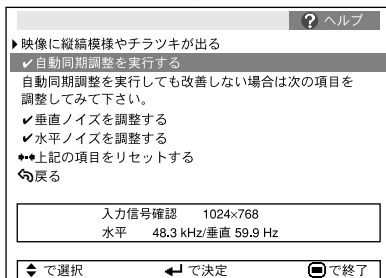
操作に困ったときは、対話式のヘルプ機能で本機や投映映像を設定・調整することができます。

「ヘルプ」機能を使う

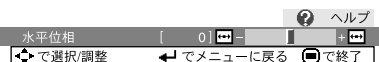
例: 映像にチラツキがあるとき
・コンピューターRGB入力で映像にチラツキがあるときの操作例

1 MENU/HELPを押す

2 ◀/▶ を押して「ヘルプ」を選び、ENTERを押す。

3 ▲/▼を押して「映像に縦縞模様やチラツキが出る」を選び、ENTERを押す

4 「自動同期調整を実行する」を選び、ENTERを押す

5 映像が改善されなかったときは、「水平ノイズを調整する」を選び、ENTERを押す

6 ◀または▶を押し、調整する

メモ

・チェックマーク(✔)がついている項目を調整することができます。
・ヘルプメニュー内の項目は、入力される信号や選択している入力によって変わります。
・映像モードでsRGBを選択しているときは、「色がうすい、色あいが悪い」の項目は表示されませんので、「入力信号タイプ」の変更はできません。
・**ヘルプ機能で解決方法が見つからなかったときは、「故障かな?と思ったら」(66ページ)を参照してください。**

お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

■キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

■キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。

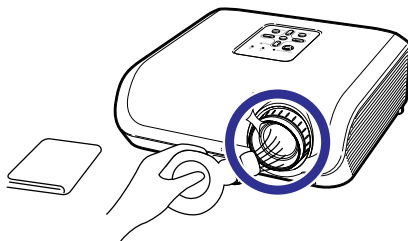
■殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

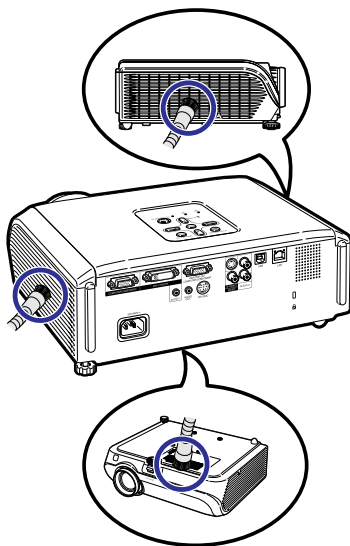
■汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

■汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

レンズの手入れのしかた

■レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

■表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。

排気孔や吸気孔の手入れのしかた

■排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

お知らせ

・プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の**STANDBY/ON**またはリモコンの**STANDBY**を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

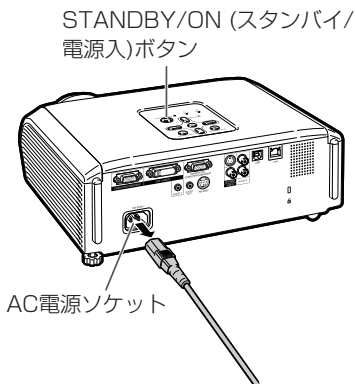
ダストフィルターのお手入れと交換について

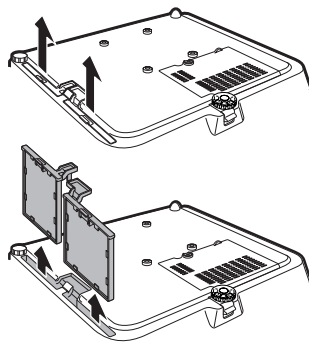
ダストフィルターのお手入れ

お知らせ

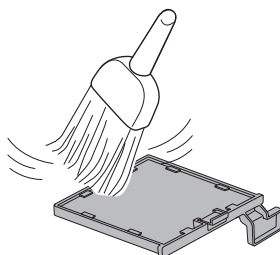
・ダストフィルターの清掃は、100時間ごとに行ってください。ホコリ、煙が多いところでご使用になるときは、それ以上に清掃を行ってください。

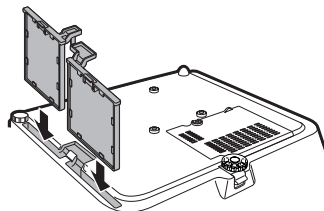
1 **本体のSTANDBY/ONを押し、プロジェクターを待機状態にする**

・電源コードを取り外し、電源コードをAC電源ソケットから外します。
・冷却ファンが止まるまで待ちます。

2 **フィルターホルダーを取り外す**

・本機を裏返しにして、ツメを押しながらフィルターホルダーを引き出し、取り外します。

3 **小さいハケなどでダストフィルターのホコリを清掃する**

付録

つづく

4 フィルターホルダーを取り付ける

・ツメの方向を確認してホルダーを入れ、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

メモ

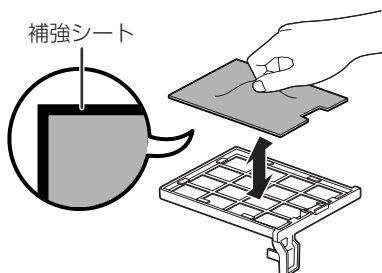
・フィルターホルダーがしっかり取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

ダストフィルターを交換する

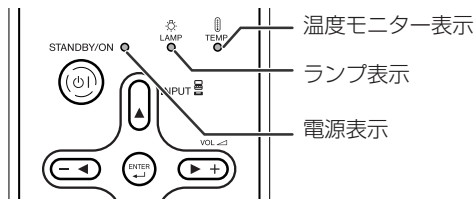
お知らせ

・ダストフィルターを清掃してもきれいにならないときは、お買いあげの販売店で新しいダストフィルター「PFILDA025WJZZ」をご購入ください。

フィルターフォルダーを取り外し(「ダストフィルターのお手入れ」の手順2を参照)、ダストフィルターを交換する

・指でダストフィルターをつまみ、フィルターホルダーから取り外します。
・補強シートを下に向け、ダストフィルターをホルターホルダーのツメの下に入れます。

お知らせ表示について

■ 本機では、内部の異常をお知らせ表示（電源表示、ランプ表示、温度モニター表示）が点灯してお知らせします。
■ 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

本体天面

温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、ファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「温度」の表示が出た時点で**58**ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について

ランプを交換してください。

■ランプ残率が5％以下になると、「▩（黄色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0％になると、「▩（赤色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ（光源）が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
■ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは電源が入らなくなります**のでご注意ください。

本体のランプ表示について

電源表示	赤色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	赤色点滅	異常があります（**58**ページ）
	緑色点滅	冷却中です
ランプ表示	緑色点灯	正常
	緑色点滅	光源起動中
	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しなかったとき、ランプの交換時期となったときです（**58**ページ）
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯	内部温度が上昇しています（**58**ページ）

つづく

お知らせ表示について（つづき）

お知らせ表示			現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点灯 （待機状態時）	内部温度が高温になっている	・通風孔がふさがれている	・正しい設置場所に設置してください。（**11**ページ）
				・冷却ファンの故障 ・内部回路の故障 ・内部通風孔の目づまり	・販売店、またはもよりのシャープ修理相談センター（**68**ページ）に修理を依頼してください。
ランプ表示	緑色点灯 （緑色点滅は光源起動中/終了中）	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しない	—	・電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	・ランプ残率が5%以下になった	・ランプを交換してください。（**60**ページ） ・ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**68**ページ）にお問い合わせください。 ・ランプを交換するときは、注意して行ってください。 ・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。
		赤色点灯 （待機状態時）	ランプ（光源）が点灯しない	・ランプ（光源）が切れた ・ランプ（光源）点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯 緑色点滅 （冷却中）	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	・ダストフィルターホルダーかランプユニットカバーが外れている	・ダストフィルターホルダーとランプユニットカバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口（**68**ページ）にお問い合わせください。

お知らせ

・温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置（**11**ページ）を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
・プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
・冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。

ランプを交換する

ランプについて

■光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（**50**ページ参照）

■ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコ+静音モード：ランプ残率約67%/明るさ優先モード：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■別売のランプユニット（形名AN-F310LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

ランプ使用上のご注意

■プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

警告

■当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店に内部の点検を依頼してください。

・当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

警告

ランプ交換時のご注意

・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

・ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。
*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

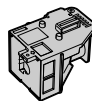
つづく

ランプ交換のしかた

警告

・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

お知らせ

・取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
・けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
・ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

別売品 ランプユニット 形名 AN-F310LP

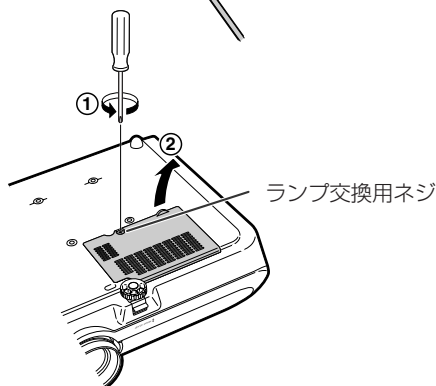
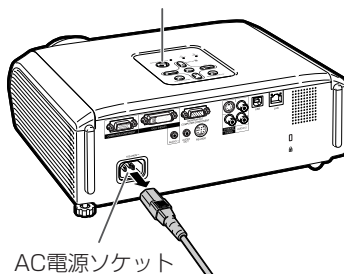
1 本体のSTANDBY/ONまたはリモコンのSTANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

・冷却ファンが止まるまで待ちます。

2 電源コードをプロジェクターから取り外す

・電源コードをAC電源ソケットから外します。
・電源コードを取り外した後も、冷却ファンが回転する場合があります。
・**ランプユニットが十分冷えるまで（約1時間）放置します。**

3 ランプユニットカバーを取り外す

・プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます（①）。矢印の方向にランプユニットカバーを取り外します（②）。

4 ランプユニットを取り外す

・固定ネジをゆるめます。取っ手をつかみ、ランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。

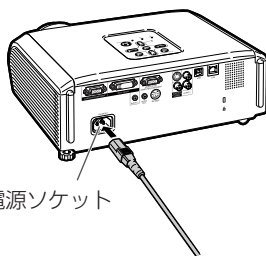
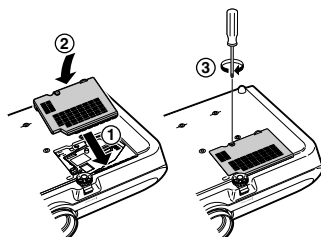
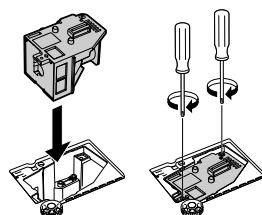
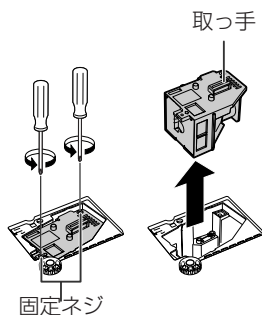
5 新しいランプユニットを挿入する

・ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

6 ランプユニットカバーを取り付ける

・ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ（①）、つまみを押しながらランプユニットカバーを取り付けます（②）。ランプ交換用ネジを閉め（③）、ランプユニットカバーを固定します。

お知らせ

・電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ

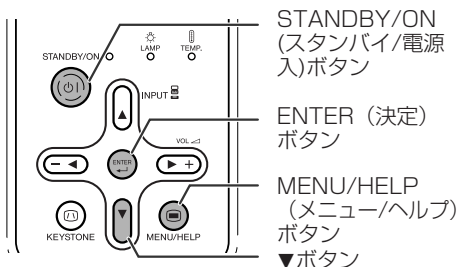
・ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

・電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

2 ランプ使用時間をリセットする

・プロジェクター本体の**MENU/HELP**・**ENTER**・**▼**を同時に押しながら、**STANDBY/ON**を押します。
・ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

付録

プロジェクターを収納する

収納ケースの使いかた

プロジェクターを収納するときは、レンズキャップを装着して、付属の収納ケースに入れてください。

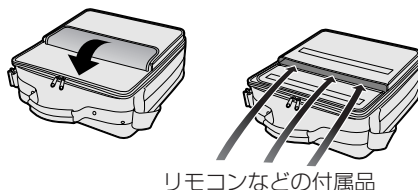
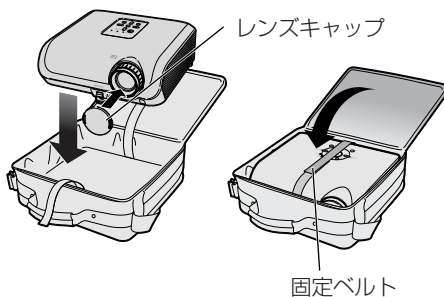
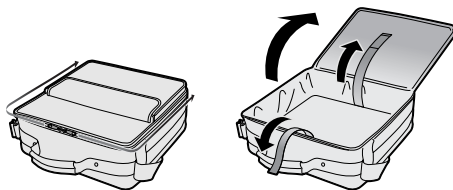
1 カバーを開ける

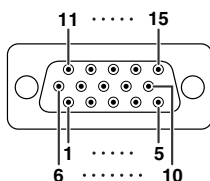
2 本体を収納ケースの中に入れる

お知らせ

- 本体が十分冷えてから収納してください。
- 冷却ファンが停止していることを確認してから収納ケースに入れてください。
- レンズを保護するため、レンズキャップは必ず装着してください。
- **レンズ側が収納ケースの取っ手側に向くように入れてください。**
- 本体を固定するため、固定ベルトを留めてください。
- 収納ケースは、直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。変形・変色の原因になります。

3 カバーを閉める

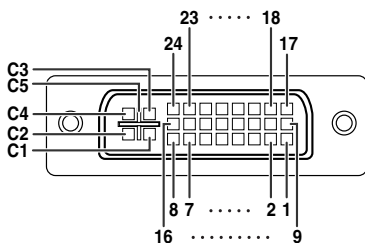
4 付属品を収納ケース前部のポケットに収納する

本体のコネクターのピン配置

COMPUTER／COMPONENT入力端子とCOMPUTER／COMPONENT出力端子：ミニD-sub15ピンコネクター（メス）

コンピュータ入/出力

ピン番号	信号名
1.	映像入力（赤）
2.	映像入力（緑／シンクオングリーン）
3.	映像入力（青）
4.	NC
5.	NC
6.	接地（赤）
7.	接地（緑／シンクオングリーン）
8.	接地（青）
9.	NC
10.	接地
11.	NC
12.	データ
13.	水平同期信号
14.	垂直同期信号
15.	クロック

コンポーネント（色差）入/出力

ピン番号	信号名
1.	PR (CR)
2.	Y
3.	PB (CB)
4.	NC
5.	NC
6.	接地(PR)
7.	接地(Y)
8.	接地(PB)
9.	NC
10.	NC
11.	NC
12.	NC
13.	NC
14.	NC
15.	NC

DVI-I端子：29ピンコネクター

●DVIデジタル入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	T.M.D.Sデータ2−	16.	ホットプラグ検出
2.	T.M.D.Sデータ2+	17.	T.M.D.Sデータ0−
3.	T.M.D.Sデータ2シールド	18.	T.M.D.Sデータ0+
4.	NC	19.	T.M.D.Sデータ0シールド
5.	NC	20.	NC
6.	DDCクロック	21.	NC
7.	DDCデータ	22.	T.M.D.Sクロックシールド
8.	NC	23.	T.M.D.Sクロック+
9.	T.M.D.Sデータ1−	24.	T.M.D.Sクロック−
10.	T.M.D.Sデータ1+	C1.	NC
11.	T.M.D.Sデータ1シールド	C2.	NC
12.	NC	C3.	NC
13.	NC	C4.	NC
14.	+5V電源	C5.	接地
15.	接地		

●DVIアナログRGB入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	NC	16.	ホットプラグ検出
2.	NC	17.	NC
3.	NC	18.	NC
4.	NC	19.	NC
5.	NC	20.	NC
6.	DDCクロック	21.	NC
7.	DDCデータ	22.	NC
8.	アナログ垂直同期	23.	NC
9.	NC	24.	NC
10.	NC	C1.	映像（赤）
11.	NC	C2.	映像（緑）
12.	NC	C3.	映像（青）
13.	NC	C4.	アナログ水平同期
14.	+5V電源	C5.	接地
15.	接地		

●DVIアナログコンポーネント入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	NC	16.	NC
2.	NC	17.	NC
3.	NC	18.	NC
4.	NC	19.	NC
5.	NC	20.	NC
6.	NC	21.	NC
7.	NC	22.	NC
8.	NC	23.	NC
9.	NC	24.	NC
10.	NC	C1.	Pr/Cr
11.	NC	C2.	Y
12.	NC	C3.	Pb/Cb
13.	NC	C4.	NC
14.	NC	C5.	接地
15.	接地		

本体のコネクターのピン配置(つづき)

RS-232C端子：9ピンミニDINコネクター（メス）

ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1.				NC
2.	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3.	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4.				NC
5.	SG	接地		内部回路に接続
6.				NC
7.	RS	送信要求	出力	内部回路でCSに接続
8.	CS	送信可	入力	内部回路でRSに接続
9.				NC

DIN-D-sub RS-232Cアダプターの9ピンD-subコネクター（オス）

ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1.				NC
2.	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3.	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4.				NC
5.	SG	接地		内部回路に接続
6.				NC
7.	RS	送信要求	出力	内部回路でCSに接続
8.	CS	送信可	入力	内部回路でRSに接続
9.				NC

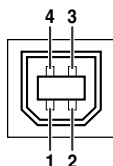
RS-232Cケーブルの推奨接続：9ピンD-subコネクター（メス）

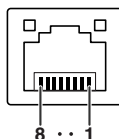
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1.	CD	1.	CD
2.	RD	2.	RD
3.	SD	3.	SD
4.	ER	4.	ER
5.	SG	5.	SG
6.	DR	6.	DR
7.	RS	7.	RS
8.	CS	8.	CS
9.	CI	9.	CI

メモ

・使用するコントロール機器（コンピュータなど）によってはピン4とピン6を接続する必要があります。

プロジェクターのピン番号	コンピュータのピン番号
4	4
5	5
6	6

USB端子：BタイプUSBコネクター

ピン番号	信号	信号名
1	VCC	USB電源
2	USB－	USBデーター
3	USB＋	USBデータ＋
4	SG	接地

LAN端子：8ピンRJ-45モジュラコネクター

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TX＋	5	
2	TX－	6	RX－
3	RX＋	7	
4		8	

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

・幅広い信号に対応。
　水平周波数：15kHz～110kHz
　垂直周波数：45Hz～85Hz
　ドットクロック：12MHz～170MHz
　同期信号：TTLレベルに対応。
・シンクオングリーン信号に対応。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	DVI-Dサポート信号	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示
			31.5	70			
			37.5	85	✔		
		640 × 400	27.0	60		✔	
			31.5	70			
			37.9	85	✔		
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70			
		720 × 400	27.0	60		✔	
			31.5	70			
			37.9	85	✔		
		640 × 480	26.2	50			
			31.5	60	✔		
			34.7	70			
			37.9	72	✔		
			37.5	75	✔		
			43.3	85	✔		
	SVGA	800 × 600	31.4	50			
			35.1	56	✔		
			37.9	60	✔		
			46.6	70			
			48.1	72	✔		
			46.9	75	✔		
			53.7	85	✔		
	XGA	1024 × 768	40.3	50			
			48.4	60	✔		
			56.5	70	✔		
			60.0	75	✔		
			68.7	85	✔		
	WXGA	1280 × 720	45.0	60			リアル表示
		1280 × 768	47.7	60			
		1280 × 800	49.8	60			
		1280 × 800	62.7	75			
		1360 × 768	47.6	60			
		1366 × 768	47.8	60			
	SXGA	1152 × 864	55.0	60			圧縮表示
			66.2	70			
			67.5	75	✔		
		1280 × 1024	64.0	60	✔		
		1280 × 1024	80.0	75	✔		
	SXGA+	1400 × 1050	64.0	60			
	UXGA	1600 × 1200	75.0	60	✔		
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			拡大表示
MAC 16"	SVGA	800 × 600	37.8	60			拡大表示
		832 × 624	49.7	75			
MAC 19"	XGA	1024 × 768	60.2	75			
MAC 21"	SXGA	1152 × 870	68.7	75			圧縮表示

メモ

・本機は640×350VESA形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。

DTV

入力信号（有効走査線数）	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	DVI-Dサポート信号(HDCP対応)
525I（480I）	15.7	60	
525P（480P）	31.5	60	✔
625I（576I）	15.6	50	
625P（576P）	31.3	50	✔
750P（720P）	37.5	50	✔
750P（720P）	45.0	60	✔
1125I（1035I）	33.8	60	✔
1125I（1080I）	28.1	50	✔
1125I（1080I）	33.8	60	✔
1125P（1080P）	56.3	50	✔
1125P（1080P）	67.5	60	✔

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	**27**
	・接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	**–**
	・表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	**32**
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	**23〜27**
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	**17**
	・ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	**23**
	・ダストフィルター・ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	**55、56、60、61**
	・DVIデジタル機器を接続し、電源を入れた後にプロジェクター側で“DVI-D”入力を選択すると、映像が出ない場合や正しく映像が投映されない場合があります。接続した機器は必ずプロジェクターで入力を選択した後に電源を入れてください。	**23**
音声は出るが映像が出ない(暗い)	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	**23〜27**
	・映像調整の「明るさ」が「−(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	**44**
	・お使いのコンピュータによっては、コンピュータの出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	**23**
色がうすい、色あいが悪い	・映像調整は、正しく調整されていますか。 ・「メニュー」−「映像調整」−「色合い」または「色の濃さ」を調整するか、「BrilliantColor™」を下げてください。	**44**
	〈ビデオ入力のとき〉 ・ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 ・ヘルプメニュー内の「色がうすい、色あいが悪い」で正しく設定してください。	**53**
映像がボヤける ノイズが発生する	・レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	**29**
	・投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	**22**
	〈コンピュータ入力のとき〉 ・同期調整(クロック調整)を行ってください。 ・同期調整(位相調整)を行ってください。 ・コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	 **53** **53** **–**
映像は出るが音声が出ない	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	**23〜27**
	・音量が最小になっていませんか。 ・外部機器と接続しているとき、本機の音量が最小になっていると外部機器の音量を上げても音声がでません。	**32**
	・「メニュー」−「本体設定」−「スピーカー」が「切」になっていませんか。	**48**
	・「メニュー」−「本体設定」−「音声入力端子」の設定は正しいですか。	**49**
映像と画面サイズが一致しない	・ヘルプメニューの「映像と画面サイズが一致しない」で必要な調整を行ってください。	**53**
	・お使いのコンピュータによっては、設定した解像度と異なる信号が出力される場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	**–**

こんなとき	ここをお調べください	ページ
キャビネットから時々 「ピシッ」と音がする	・画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–
お知らせ表示（本体 ランプ）が赤点灯 （点滅）する	・「お知らせ表示について」をご覧ください。	**57**
本体ボタンで電源を 入／待機状態にでき ない	・キーロックが設定されていませんか。 「ON 」に設定されている場合、すべてのボタンが働きません。	**50**
コンピュータまたはDVI のコンポーネントモード で画面が緑がかる	・入力信号タイプが正しく設定されていますか。 ヘルプメニュー内の「色がうすい、色あいが悪い」で「入力信号タイプ」を設定してください。 ・「映像モード」で「sRGB」が選択されているときは、ヘルプメニュー内の「色がうすい、色あいが悪い」が選択できません。「映像モード」を「sRGB」以外に設定してから、ヘルプメニュー内の「色がうすい、色あいが悪い」で「入力信号タイプ」を設定してください。	**53** **43**
コンピュータまたはDVI のRGBモードで 画面がピンクがかる		
映像が明るすぎて 白っぽくなる	・映像調整は、正しく調整されていますか。	**44**
ファンの音が大きくなる	・内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	–
電源を入れても ランプが点灯しない	・ランプ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	**57**、**58**、 **60**
使用中に突然ランプが 消灯した		
映像が時々ちらつく ことがある	・接続状態や接続機器に問題はありませんか。 ・ヘルプメニューの「映像に縦稿模様やチラツキが出る」で必要な調整を行ってください。 ・頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	**23～27** **53** **60**
電源を入れるとき、 ランプが点灯するまで時 間がかかる	・ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなることがあります。ランプを交換してください。	**60**
映像が暗い		

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。
正常に動作しない時は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直して下さい。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」
などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受 付 時 間

- 月曜～土曜: 9:00～18:00
- 日曜・祝日: 9:00～17:00

（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電 話：043 - 351 - 1821 FAX：043 - 299 - 8280	
西日本相談室	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電 話：06 - 6792 - 1582 FAX：06 - 6792 - 5993	

修理のご相談など

※「持込修理」「部品購入」「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、次ページの補足をご覧ください。

【修理相談センター】（沖縄・奄美地区を除く）

0570 - 02 - 4649

携帯OK

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受 付 時 間

- 月曜～土曜: 9:00～20:00
- 日曜・祝日: 9:00～18:00

（年末年始を除く）

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

地区	連絡先
東日本地区	PHS／IP電話： 043 - 299 - 3863 ファックス： 043 - 299 - 3865
西日本地区	PHS／IP電話： 06 - 6792 - 5511 ファックス： 06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区	「那覇サービスセンター」（月～金 9:00～17:30） 098 - 861 - 0866

補足 持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜:**9:00～17:30**（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜:**9:00～17:30**（祝日など弊社休日を除く）

北陸地区
● **金　沢** サービスセンター：
076 - 249 - 2434
〒921-8801
石川郡野々市町御経塚4-103

近畿地区
● **京　都** サービスセンター：
075 - 672 - 2378
〒601-8102
京都市南区上鳥羽管田町48

● **大　阪** テクニカルセンター：
06 - 6794 - 5611
〒547-8510
大阪市平野区加美南3-7-19

● **阪　神** サービスセンター：
06 - 6422 - 0455
〒661-0981
兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10

中国地区
● **広　島** サービスセンター：
082 - 874 - 8149
〒731-0113
広島市安佐南区西原2-13-4

四国地区
● **高　松** サービスセンター：
087 - 823 - 4901
〒760-0065
高松市朝日町6-2-8

九州地区
● **福　岡** サービスセンター：
092 - 572 - 4652
〒816-0081
福岡市博多区井相田2-12-1

沖縄・奄美地区
● **那　覇** サービスセンター：
098 - 861 - 0866
〒900-0002
那覇市曙2-10-1

北海道地区
● **札　幌** サービスセンター：
011 - 641 - 4685
〒063-0801
札幌市西区二十四軒1条7-3-17

東北地区
● **仙　台** サービスセンター：
022 - 288 - 9142
〒984-0002
仙台市若林区卸町東3-1-27

関東地区
● **宇都宮** サービスセンター：
028 - 637 - 1179
〒320-0833
宇都宮市不動前4-2-41

● **さいたま** サービスセンター：
048 - 666 - 7987
〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-107-2

● **東　京** テクニカルセンター：
03 - 5692 - 7765
〒114-0013
東京都北区東田端2-13-17

● **多　摩** サービスセンター：
042 - 586 - 6059
〒191-0003
日野市日野台5-5-4

● **千　葉** サービスセンター：
047 - 368 - 4766
〒270-2231
松戸市稔台6-6-1

● **横　浜** テクニカルセンター：
045 - 753 - 4647
〒235-0036
横浜市磯子区中原1-2-23

東海地区
● **静　岡** サービスセンター：
054 - 344 - 5781
〒424-0067
静岡市清水鳥坂1170-1

● **名古屋** サービスセンター：
052 - 332 - 2623
〒454-8721
名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.08）

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
  - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
    （6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

使い方や修理のご相談など

- 修理·使い方·お手入れ·お買い物などのご相談·ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店**、または**シャープお客様ご相談窓口(68ページ)**にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（**66**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　　名：データプロジェクター
形　　　名：PG-F320W
お買いあげ日：(年月日)
故障の状況：(できるだけ具体的に)
ご　住　所：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お　名　前：
電話番号：
ご訪問希望日：

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　月　日	電話（　　）　　—

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！
こんな症状はありませんか？

●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

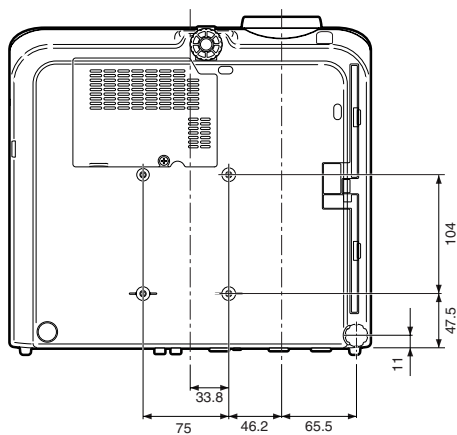
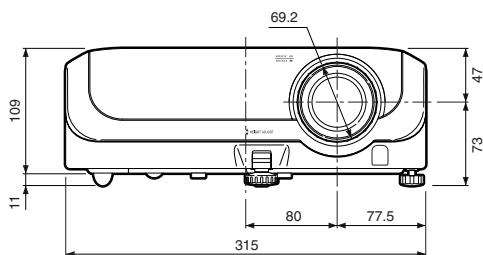
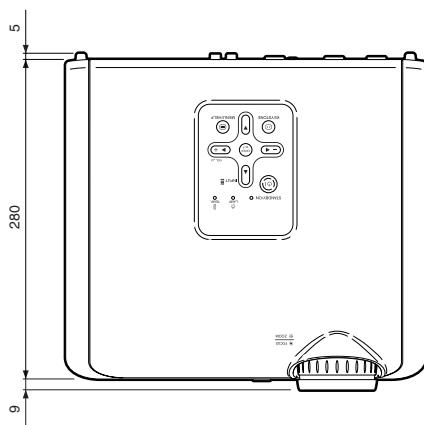
仕様

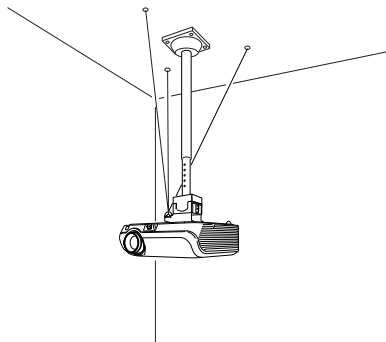
形名		PG-F320W
表示デバイス		0.65型 DLP®チップ ×1
解像度		WXGA（1280×800）
レンズ	F 値	F 2.4～2.6
	ズーム	手動、1.15倍（f=18.7～21.5 mm）
	フォーカス	手動
入力端子	DVI-I（HDCP対応）	×1
	コンピュータ/コンポーネント（ミニD-sub15ピン）	×1
	S映像（ミニDIN4ピン）	×1
	映像（RCA）	×1
	音声（φ3.5 mmステレオミニジャック）	×1
	音声（RCA）	×1（左/右）
出力端子	コンピュータ/コンポーネント（ミニD-sub15ピン）	×1
	音声（φ3.5 mmステレオミニジャック）	×1（可変音声出力）
制御、その他	LAN端子（RJ-45）	×1
	USB端子（タイプ B）	×1
	RS-232C端子（ミニ DIN9 ピン）	×1
内蔵スピーカー		2 W（モノラル）
ランプ		275 W
定格電圧		AC 100～240 V
定格周波数		50/60 Hz
入力電流		3.7 A
消費電力（待機時消費電力）（AC 100 V時）		363 W（10.5 W）
使用温度範囲		5℃～35℃
キャビネット		プラスチック
外形寸法（突起部除く）幅×奥行×高さ（mm）		315 × 280 × 109
質量		約 4.1 kg

お願い

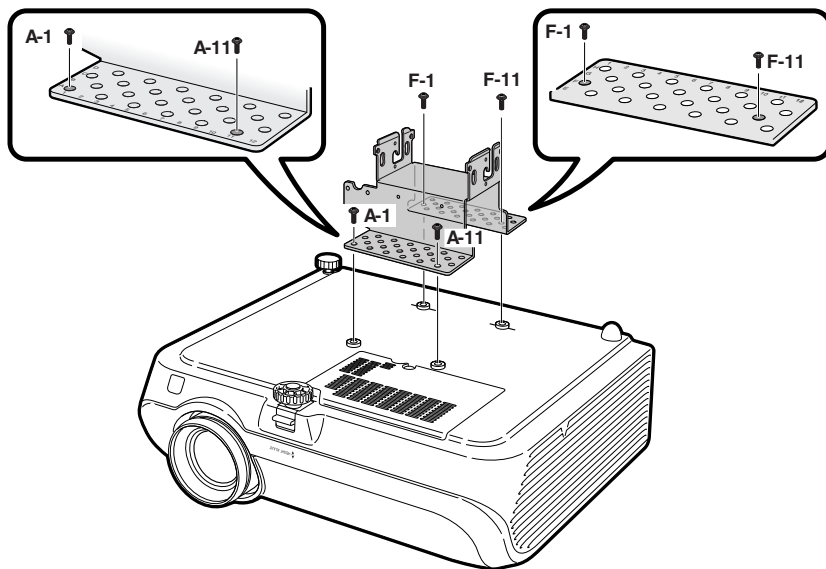
・DLP®チップは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

寸法図

単位：mm

天吊り

プロジェクターを天井に設置するときは、**22**ページの画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。

AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

天吊り用取付アダプター（別売品）の取り付けかた

天吊り用取付アダプター
（AN-60KT）

・取り付けに使用するビス穴はA-1、A-11、F-1、F-11です。
・天吊り用取付アダプターに付属のビス(M4)を使用してください。

付録

寸法図(つづき)

	品名	形名
①	高天井用取付ユニット	AN-TK201
②	低天井用取付ユニット	AN-TK202
③	天吊り用取付アダプター	AN-60KT

索引

記号英数

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。 シャープサポートページ http://www.sharp.co.jp/support

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電　話	ファックス
東日本相談室→	043 - 351 - 1821	043 - 299 - 8280
西日本相談室→	06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993

受付時間　●月曜～土曜:9:00～18:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　(年末年始を除く)

修理のご相談など

【修理相談センター】(沖縄・奄美地区を除く)

0570 - 02 - 4649

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区→	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区→	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区→	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866(月～金 9:00～17:30)	

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～18:00　(年末年始を除く)

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2007.08)

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地